

事業所名： 桑の実西所沢保育園

令和元年度
埼玉県福祉サービス第三者評価

評価結果報告書

評価機関(認証No.埼玉県2012041)
合同会社 福祉経営情報サービス

埼玉県福祉サービス第三者評価結果報告書

2020 年 3 月 31 日

埼玉県知事あて

〒 104-0061

住所

東京都中央区銀座6-6-1
銀座風月堂ビル5階

電話番号 03-5537-7750

評価機関名 合同会社福祉経営情報サービス

認証番号 埼玉県 2012041

代表者氏名 渡邊広貴

下記のとおり評価を行ったので報告します。

記

評価調査者氏名・ 分野・ 評価調査者番号	評価調査者氏名		分野	評価調査者番号
	(1)	渡邊廣貴	組織・福祉	2001210300
	(2)	佐藤富徳	組織	2001510345
	(3)			
	(4)			
	(5)			
サービス種別	保育所			
事業所名称	桑の実西所沢保育園			
評価実施期間(契約日から報告書提出日)	2019年12月2日	～	2020年3月25日	
利用者調査実施時期	2019年12月10日	～	2019年12月20日	
訪問調査日	2020年1月28日			
評価合議日	2020年3月18日			
評価結果報告日	2020年3月23日			
評価結果の公表について事業所の同意の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 同意あり		<input type="checkbox"/> 同意なし	

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

合同会社福祉経営情報サービス

②事業者情報

名称：桑の実西所沢保育	種別：保育所
代表者氏名：小岩井ひろみ	定員(利用人数)：90名
所在地：〒359-1145 埼玉県所沢市山口289-1	TEL 04-2935-3181

③評価実施期間

令和元年 12月 2日（契約日）～令和2年 3月 23日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

○温もりのある環境の中で、子どもの意欲や興味を大切にしたさまざまな活動が実施されている

体操指導、英語教室、地域の方に依頼しての太鼓指導、希望者向けの学習教室など、子どもの意欲を大切にしたさまざまな活動を実施している。また、0歳児はわらべ歌なども取り入れて、子どもの様子を保育者が温かく見守り、ゆったりと関わっている。各クラスには子どもの発達や興味に沿った手作り玩具が多く置かれており、特に3歳未満児は手作りの物で遊ぶことを意識した環境設定がされている。例えば、1・2・3歳児の部屋には押し入れだったスペースを利用してままごとコーナーが作られており、椅子やテーブル、棚や冷蔵庫などが、牛乳パックや大型の段ボール箱を利用して丈夫できれいに作られている。壁紙を貼り、おうちのような雰囲気のコーナーが出来上がっており、さまざまな手作りの玩具が置かれている。子どもの姿や遊びを考えて作成されており、子ども達にとって楽しい場所になっている。

○保育者一人ひとりが子ども個々に丁寧に関わり、保護者との信頼関係を築いている

「自分の子どもだと思って保育をする、いつだれが見てもこの先生に預けて良かったと思える関わりをする」という園長の想いがあり、訪問時の視察ではそれが保育者にも浸透している様子であり、保育者一人ひとりが子どもの気持ちに寄り添い、丁寧な関わりがされていた。保護者には園からの情報発信を行い、子どもの様子を知つもらったり、声掛けや働きかけをして保護者とコミュニケーションをとっている。降園時に園長や主任が保護者に声をかける姿や、園全体の保育者の子どもに対する声掛けや働きかけは優しく、保護者も安心して子どもを園に預けられているものと推察された。また、今回の保護者アンケートでも保護者の満足度が高く、得られた意見からは園長以下、職員の対応などについての信頼が高いことが推察された。

○栄養士が話し合っておいしい食事の提供に取り組み、旬の食材を豊富に使い毎日の食事を提供している

日々の献立の中にたくさんの食材を使い、また、旬の食材を使って子ども達にさまざまな食材を味わう経験をさせている。薄味で旨味を大切にした給食を手間をかけて提供しており、視察時の年長児は皆完食し、お替りを楽しみにしていた。調理保育では、年長児は夏野菜の栽培をして、お泊り保育で育てた野菜を皆で味わうなど、子どもの興味を高める年間食育計画を立てて取り組んでいる。

また、季節に合わせた行事食や毎月の誕生会の特別メニューのほか、3月には年長児が好きなメニューを選び、3~5歳児が一緒に食事をするお別れバイキングを実施しているなど、子どもが楽しめる食の提供と食育が実施されている。食育には法人として力を入れ、各園の栄養士同士が話し合いおいしい食事の提供に取り組んでおり、提供している給食やレシピは1冊の本にまとめられて保護者に配布されている。

◇特にコメントを要する点

○保護者の意向や要望を確認するための定期的なアンケートの実施を検討することを勧めたい

保護者からの相談対応や意向の把握は毎日の会話や連絡ノートのやり取りを重視しており、保護者から相談があるときは丁寧な対応をしている。個別面談は全員対象で年2回実施され、懇談会は年1、2回実施し、また、保育参観等で子どもの育ちなどについて共通認識を深めている。

今回の第三者評価において実施した保護者アンケートでは保護者からの評価も高く、また、多くの意見を得ることができている。園では保護者のニーズを把握するためのアンケートなどは実施していないため、定期的に保護者の意向を把握する手段として、園内での定期的なアンケートを今後実施して園運営に活かしていくことも勧めたい。

○今後も職員間で話し合い、園の目指す保育の実現に向けて日々取り組んでいくことを期待したい

とても明るい雰囲気の保育園であり、保育者と子どもとの関わりが温かく、子ども達もあるがままの姿を出して落ち着いて過ごせる環境がある。また、活動の時間なども大変丁寧な援助がされている。今後も子どもが主体的に過ごせる境づくりを園全体で話し合い、園の目指す保育の実現に向かって歩みを進めていただきたい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

開園から9年目を迎え大切な子ども達を保育する仕事として、サービスの実現を目指し受審を行いました。今回の評価結果を見直し、職員と共に保育運営に努め安心・安全の保育を目指していきます。

保護者の皆様、アンケートのご協力大変ありがとうございました。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり

評価細目の第三者評価結果

(保育所、地域型保育事業)

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

第三者評価結果	コメント
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	<p>a 理念、基本方針は保育園のしおりや園だより、パンフレット、WEBページ等に記載されている。理念、保育方針、保育目標は、それぞれに「その子らしさ」という表現を用いて明文化され、子ども一人ひとりの人権の尊重や個人の尊厳にかかる姿勢を明確にしている。</p> <p>園長は理念を常に言葉で伝えることを大切に考え、職員には「その子らしさを大切に育てる」理念に沿い、子どもの立場に立って保育することなどを日々伝えることとしている。</p> <p>保護者に対しては、例えば、行事で大切にしていることなどを面談や懇談会などで話すことでの園の保育を伝え、保育や子育てについての共有認識を持つことに努めている。</p>

I-2 経営状況の把握

第三者評価結果	コメント
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	<p>a 外的な動向は、所沢市からの情報や所沢市の私立保育園協会から得られる情報に加え、毎月開催される法人の園長会や、園長会の中で開催される勉強会で情報を得ている。</p> <p>保育グループ全般にかかる経営環境の分析は法人で実施されている。園長会では経営品質賞の専門家による経営の勉強会が開催されており、また、園長会内にキャリアアップやキャリアパス、人事賃金、労務管理、保育などのワークグループがあり、各グループでそれぞれのテーマに沿った課題検討や分析等も実施して、環境の変化への対応や課題の抽出に取り組んでいる。</p>
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	<p>a 法人園長会や園長会のワークグループでは法人全体の重要課題が抽出され、グループ全園で解決のための活動が実施される。</p> <p>園では重要課題に対する目標を明確にしており、事業計画書に記載して職員と共有している。一時保育の目標など数値化できるものは数値化して目標を設定している。</p>

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	b	法人として中長期のビジョン・目標を掲げ人材育成や働き方改革などに取り組んでおり、毎月実施している法人園長会では中長期的視点を踏まえたグループワーク等も実施している。園では会議で法人の2020年度までの目標を職員に伝え、保育について長期的な展望を話し合い計画を立てている。
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	法人保育事業部の事業計画が策定され、園長会のグループワークではキャリアプランの見直しや職務要件の見直し等が検討されている。法人と園の課題や中長期の目標に基づく課題解決のための取り組みがあり、園では法人の方針に沿って、例えば人材採用に関する事や、乳児保育における主体的にあそべる環境作りなど園としての重要課題を年度の事業計画書に記載し、計画的に重要課題に取り組んでいる。

I－3－（2）事業計画が適切に策定されている。	a	「事業計画書」は、年度初めの職員会議で周知されている。計画の振り返りは2～3月に実施しており、事業報告書に反省事項を反映するとともに、次期の事業計画につなげている。事業計画策定にあたり、経営環境の内部分析に職員が参画しており、例えば、働きやすい職場づくりについて職員の意見を集約して計画に反映している。決定された方針は園の方針は非常勤職員を含む職員に周知されている。
I－3－（2）－② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a	法人で定めている2020年度までの目標や法人が求める人間像、理念・方針・目標が掲示されている。事業計画は、年度当初に玄関に掲示して閲覧ができる状態にしている。クラス懇談会では資料を配布して、資料に沿って園の保育について詳しく保護者に伝えている。園内には年2回の懇談会にはほとんどの保護者が参加するという事であり、参加できなかつた保護者には個別に伝えるなど十分な周知のための配慮がされている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

第三者評価結果	コメント
I－4－（1）質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	<p>I－4－（1）－① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。</p> <p>法人全体では、園長会で行うグループワークの中で、例えばナーサリーグループであれば施設訪問、ヒューマンリソースグループであれば研修ハンドブックづくりなどの取組みにより、保育の質の向上が図られている。</p> <p>園内業務では毎年、年間を通じ園庭係や倉庫係、絵本係などの係業務について担当者と各係のリーダーを決め、チームごとに活動している。フェンスの花を飾るなどの美化や清掃などの係を自主的に職員がおこなっている。</p>
I－4－（1）－② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	<p>事業計画については年度末に重要事項について職員による事業環境分析が実施され、事業報告書に記載されている。園内の係業務については、年度末に反省がされている。また、法人の園長会の取り組みなどで課題を抽出し改善・実施策が検討されている。保育の自己評価は人事考課と合わせて実施されている。</p> <p>職員会議は毎月2、3回、昼の時間帯に開催され、打ち合わせは毎日、職員が5分程度集まる時間を取って行われている。クラス会議は毎月実施し、それらの会議において園内で取り組んだ事項について職員が意見を出し合い、反省し改善に努めている。</p>

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	a	<p>「職務分担表」を作成しており、その中に園長の役割・責任を明記して職員に周知している。園長は最終責任が園長にあることなど、園長自らの責任を職員に伝え、保育実践における心構えを職員に伝えている。保育の楽しさや、そのために必要な役割・責任、職員各自が自分の保育士像を持つことなどが周知されており、職員との高い信頼関係を構築し、リーダーシップを発揮している。</p>
II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a	<p>法人が作成している「ハンドブック」（理念・目標、「笑顔」「素直な子ことなどの行動規範、守秘義務等が記載）を入職時に職員に配布しており、園内では会議で読み合わせをしている。また、法人では今年度、中堅職員に対しても基本マナーなどの研修を実施している。ハラスメントについては「ハラスメントはしません」という法人作成の文章を園内に掲示して意識してもらっている。</p>
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	a	<p>園長は子どもや保護者が抱えている困難と一緒に考え問題解決ができるように援助関係の形成に努めている。また、職員の話を聞くことを大切に考え、面談など、直接話し合う機会を多く持って相談事などに応じている。事故防止については、事故防止委員会を園内に組織し、委員を中心に対策方法を検討している。散歩で利用する道路の安全確認のほか、毎日の遊具の点検は園長も一緒に実行している。また、マニュアルの作成は委員に責任をもってもらうなど、権限委譲による自立的な人材の育成にも取り組んでいる。</p>
II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<p>園で開設以来継続している「なんでもノート」という取組がある。常勤職員、非常勤職員に関わらず、皆が伝えたいことを書き込んで共有するためのノートであり、毎朝、職員皆が目を通すことで、業務や行動などについて共通理解が促進されている。</p> <p>園長は風通しの良い職場を大切に考え、職員の意見に耳を傾け、職員各自のモチベーションに配慮して、自ら行動で示して気持ちよく働ける職場づくりを推進している。また、法人本部と連携して園内の諸課題に対応している。</p>

II-2 福祉人材の確保・育成

第三者評価結果		コメント
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<p>人材確保については法人で制度を定めて取り組んでおり、園としては大学等に求人票を毎年送ることなどで人員の確保に努め、また、人材については資質にも着目し、定着が図られている。</p> <p>働きやすい職場作りの一環で休暇については有給休暇、産休育休休暇などの制度のほか、1時間単位で取得できる時間休が導入されている。有給休暇については一人5日間は十分に取得できており、産休明けの職員も多く勤務している状況である。</p>
II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a	<p>キャリアパスや研修制度、人事考課制度を定め総合的な人事管理が行われており、人事考課表による個人別の目標管理が運用されている。</p> <p>園ではリーダー業務についてクラス、早番・遅番、環境、子育て支援などを配置し、非常勤職員もリーダーとして登用して人材の活用が図られている。</p>
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<p>職員との面談は非常勤職員も含めて実施されている。人事制度の中で実施される年2回の面談に加えて年2回、合計年4回の面談を実施しており、就業状況や意向の把握に努めている。また、面談の中で職員とじっくり向き合い、園長の考えを伝え、職員と一緒に考え、いつでも職員の話を聞くことを伝えて働きやすい職場環境づくりに努めている。</p> <p>就業環境では個々の超過勤務時間を把握し、柔軟な勤務シフトの工夫や職員が協力し合うことなどで、有給休暇や時間休を取りやすいよう配慮している。</p>
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<p>キャリアパスシートには「期待する職員像」が明記されている。職員個々の育成には人事考課表を用いており、年2回、個人面談で個々の目標達成状況の確認をするとともに、今後の課題を設定している。また、人事考課に先立ち、保育の自己評価を行ない、人事考課と併せて実施している。</p> <p>面談で内容についてしっかりと話し合うことができているため、職員も課題を明確にできているとのことであった。</p>
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<p>キャリアパス制度があり、その職務に求められる能力、知識、技術水準、資格等が明示されている。法人保育事業部では、人材育成関連について具体的な計画を策定し、規程をわかりやすく伝える表や新人研修用ハンドブックの作成、人事考課制度の見直し、役割や研修体系の明確化等に取り組んでいる。</p>
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<p>法人の研修体系の中で新人研修や年齢別研修、中堅研修が実施されている。外部のキャリアアップ研修なども研修に組み込んで園の年間計画を立てており、他園での保育実践研修、園内の他クラスの見学なども取り入れて職員一人ひとりの経験や課題に応じた研修・学習の機会を確保している。</p>

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関する専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関する専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	実習生の受け入れではマニュアルを整備し、体制を整えており、積極的に受け入れている。教育は主任、クラスリーダーを中心に実施している。毎年、決まった学校から自実習生を受け入れており、栄養学校からも受け入れて調理や献立作りの実習を実施している。

II-3 運営の透明性の確保

第三者評価結果	コメント
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	法人WEBページでは理念、基本方針、提供するサービスの内容のほか、事業計画、事業報告、予算、決算報告、苦情・要望受付の内容、第三者評価受審結果を公表している。また、園では申し出があった場合に決算書の閲覧が可能となっている。
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	財務・人事管理等の事務内部監査を外部の会計事務所の指導のもと本部職員が年1回実施している。また、給食室の内部監査を法人の栄養士会が28年に実施している。法人・園に寄せられる苦情については半年ごとに法人のWEBページで公開しており、積極的な情報開示に取り組んでいる。

II-4 地域との交流、地域貢献

第三者評価結果	コメント
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	自治会主催の行事には土曜保育の子どもが参加しており、地域で実施する防災訓練では煙訓練や地震体験に参加している。また、自治会が主催するお餅つきに参加し家庭ではなかなかできない体験ができる。行事実施前は近隣にお知らせと挨拶に回っており、地域の人が見物に来てくれている。クリスマス会には自治会長にサンタ役を依頼しているほか、地域からの依頼で園の外壁をごみ収集場として活用してもらっている。また、地域の人が花壇にゴーヤの種をまいてくれており、子どもたちが収穫をしているなど、地域との良好な関係がある。
II-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	ボランティアの受け入れとしては、福祉系大学や医大の学生からの依頼があり受け入れている。次年度は、中学生の職場体験を実施する予定がある。これは近隣に中学校がなく、今まで中学生の職場体験が実施されていなかったため、保育園のことを中学生にも知ってもらいたいとの思いから園長が依頼して実現したことである。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	病児保育、緊急対応の小児科、虐待通報ダイヤルなどについては、入園時や懇談会時に保護者に周知しており、玄関にも掲示している。虐待などについては市の子ども相談センターと連携する体制がある。また、市の子ども相談センターの巡回相談を受けている。
II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a	実施している一時保育において地域との接点を持っており、年間延べ1,500名以上の利用がある。また、地域の子育て家庭が利用できる赤ちゃんの駅として登録をしている。
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。	a	公益的な取り組みとして、生活困窮者や福祉施設等に社会貢献事業として食料を届ける「彩の国あんしんセーフティーネット事業」に参加し、フードバンクとして食品を提供しており、今年度はカップラーメン、昨年度はお米を提供している。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果	コメント
III-1-（1） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
III-1-（1）-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	法人理念および基本方針に基本姿勢が明示されている。また、研修ハンドブックには子どもを尊重した保育について記載し、法人による研修が実施されている。職員は定期的な自己評価と人事考課による振りかえりの機会があり、また、園長から日常の保育の中で適宜、職員、保護者に利用者（子ども）の尊重について伝えている。	
III-1-（1）-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a	虐待マニュアルがあり、参考資料や研修資料も取り入れて職員に周知している。また、マニュアル等の読み合わせが適宜実施されている。保育の現場では、プール実施時はフェンスにシートを貼ることや、シャワー使用時のプライバシーの保護のルール化、おむつ交換時は0, 1歳児も牛乳パックで仕切りを作って行う、などが実施されている。	
III-1-（2） 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。			
III-1-（2）-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	ホームページやパンフレットには園の概要や保育方針、保育目標などをわかりやすく掲載している。また、園のパンフレットを嘱託医の医院に置いたり、見学者に配布するなど、利用希望者等に園の情報提供を行っている。園見学希望があればいつでも受け付けている。案内時には、行事や遊んでいる様子を写真で紹介する等で園の様子を伝えている。	
III-1-（2）-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a	入園説明会では方針から園生活を送るまでの注意事項や準備物まで説明を行っている。また、重要事項説明書を配布し、説明して内容についての同意を得ている。個人情報については開示（誕生日表、写真、ブログの掲示）について同意を得ている。重要事項説明書に記載されている内容などに変更があった時は園だよりや掲示、一斉メールなどで保護者に周知している。	
III-1-（2）-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	園を退園する理由として育休退園者が多い。退園者には大きな行事等、子どもが参加できそうな行事の参加促しの声掛けなどをして、退園後に保護者や子どもとも関わる機会を設けていく。また、転園や退園があったときには在園中に個別面談を行い退園後も何かあったら園へ相談しやすいよう配慮している。	
III-1-（3） 利用者満足の向上に努めている。			
III-1-（3）-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	利用者の意向は連絡ノートのやり取りを重視しており、保護者からの相談内容については必要に応じ園長自らが返信することもある。個別面談は全員対象で年2回実施されている。懇談会は年1, 2回実施している。1度目の懇談会では理念などを伝え、3つの芽生え、園の保育など、わかりやすい資料を用いて伝えている。また、保育参観、保育参加（保育士体験）、「お父さん参観」なども実施し、子どもの園での生活の様子を知ってもらう機会を設けている。	

III-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
III-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	<p>苦情解決制度については園のしおりに掲載し入園時に保護者に説明をしている。また、玄関ホールに掲示して周知するほか、意見箱を設置している。</p> <p>半期毎に苦情、意見、相談の受付内容とその対応と経過を本部に報告しており、法人ではWEBページで苦情から要望を含めた幅広い内容を経過を含め公表している等、組織的な仕組として確立している。</p>
III-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a	<p>連絡ノートのやり取りや会話などで日ごろから保護者との信頼関係づくりに努め、保護者が不満や意見を言いやすい雰囲気を作り、不満をキャッチするよう心掛けている。相談や要望などがあったときは内容によって、相談室にて個別に対応している。</p>
III-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<p>苦情を受け付けたときは苦情受付簿に記録している。保護者からの相談や意見にはその都度対応しており、その内容によって主任や園長に報告し対応する流れがある。相談や要望については園でできることを考え問題解決に取り組んでいる。</p>
III-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
III-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<p>不審者対応や安全管理、散歩、プール遊び、睡眠チェックなど安全確保に関するマニュアルを整備し、事故発生時の対応はフローチャートでわかりやすいようにまとめている。</p> <p>園内に事故防止委員会を設置し、ヒヤリハットや起きた事故の検証などを実施しており、内容を職員間で共有して、再発防止に取り組んでいる。また、ヒヤリハットは法人に提出し、法人で取りまとめられた後に園にフィードバックされて事故予防に活用されている。</p>
III-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<p>感染症対応や嘔吐処理等のマニュアルを準備し、職員間で共有している。感染症発生時には事務所前に掲示するほか、一斉メールにて保護者に周知し、予防対応や協力を呼び掛けている。</p> <p>また、再登園の際には医師の許可書の提出をしてもらうことや、園内環境については消毒をこまめに行い、布製玩具など共有して使う布製の物はなるべく使わないようにするなどで、拡大防止に努めている。</p>
III-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<p>災害時マニュアルが整備されており、毎月地震・火災を想定した避難訓練を実施している。その中で消防署立会いの避難訓練を年2回を実施しており、水害時の避難訓練も実施されている。毎月の訓練では朝、夕などの時間帯を想定したり、職員に予告なしで行う等、状況に対応できるよう実施し、実施後の振り返りを行なっている。</p> <p>さまざまなケースを想定した避難訓練計画や災害時の対応体制、マニュアル等体制が整えられ組織的に取り組まれている。</p>

III-2 福祉サービスの質の確保

III-2-(1) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
III-2-(1)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	防犯・防災・事故予防・保健衛生等に関するマニュアルのほか、保育手順などが文書化されており、各クラスに置いていつでも確認できる状態にしている。また、調乳方法などは手順を掲示している。 おむつ交換や配膳、おんぶの仕方、させ方等、援助方法については話し合いの中で共有され、OJTにより個々の職員の習熟が図られている。
III-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	保育指導計画等は、職員各自で自己評価し反省を行い、その後、主任、園長が確認し、必要に応じた助言がされている。マニュアルはマニュアルごとにファイルして利用しやすい形で管理されている。定期的な見直し時期は定めておらず、手順・方法に改善があったときなどに適宜更新をしている。
III-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
III-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	a	入園当初は家庭状況や食事、健康状態等を詳細に確認して記録し、個別の計画を立てている。計画は全体的な計画に基づき、年間カリキュラム、月案、週案が各年齢児で作成されている。人ひとりの成長、発達に差がある未満児や特別な配慮が必要な子どもについては個々の姿に沿った個別計画が作成されている。
III-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a	計画については職員会議とは別に話し合いの場を設けて職員間で話し合っている。計画の振り返りは、年間カリキュラムであれば1年を4期に分け、期ごとに行なっており、計画毎に子どもの姿や保育の振り返りをクラス会議で行い、次期の目標を設定している。
III-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
III-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	子どもの様子は毎月のクラス会議で共有し、その後の職員会議で周知している。また、情報共有のための会議を適宜開催し、会議に参加できない非常勤職員にも常勤職員が意識して伝えるなど、園全体で子どもの情報を共有することに努めている。 また、例えば、クラスで子どもの対応について困ったときなどは、会議で他の職員から意見を聞き対応を考えるなど、保育実践面についても丁寧な情報共有がされている。
III-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	各保育計画や日誌、児童表、保育過程記録等の書類は事務所の書庫に保管し、事務所職員に声をかけいつでも見られるようにしている。 また、各種記録物は提出日を決め、園長や主任による内容の確認がされている。 子どもや家庭に関する記録類は所定の場所に保管し園外に持ち出さないことを職員に周知しており、守秘義務や個人情報保護については職員ハンドブックにも記載して周知し、取り扱いについての注意を促している。

評価対象IV 内容評価基準

A-1 保育内容

	第三者評価結果	コメント
A-1-(1) 養護と教育の一体的展開		
A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育過程を編成している。	a	保育の全体的な計画は、保育理念や保育方針を踏まえ、各年齢別に目標が立てられ、保育方法や環境、健康、食育、安全、防災、長時間保育、小学校との連携等、子どもに関する事項のほか、情報公開や保育所の社会的責任など、園として行うべき事項についても記載して作成されている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と養育の一体的展開		
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。	a	午後の活動に向けて午睡明けに掃除機をかける事や、廊下に物が散乱しないよう手作りの物入れを作る事、次亜塩素酸での丁寧な掃除等、園舎の清潔や整理整頓に配慮している。また、室内の温度、湿度、換気等に気を配り、園舎の周りのフェンスには環境係が花を飾るなど、心地よく過ごせる環境に配慮がされている。
A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	保育園は家庭の延長と考え、子ども達が安心して園へ通えるよう意識して保育を行っている。そのために、個々の良さを認めながら子ども一人ひとりに寄り添って丁寧に関わり、その関わりを積み重ねていくことを心掛けている。訪問時の視察でも保育者が子ども一人ひとりに優しい言葉掛けをし、関わる姿が多くみられた。
A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。	a	未満児のおむつ替えの際は手作りの衝立を使い子どもが保育者と落ち着いて関われる空間を作り丁寧に関わっている。パンツやズボンの穿き方などは環境を整え、見守り、子どもが意欲的に行えるような声掛けを意識して援助されている。 トイレトレーニングは1歳頃を目安に家庭と連携して開始している。 離乳食は初めて口にする食材は家庭で試してもらい、個々の状態に合わせながら食形態や量などについて、家庭と連携して進めている。
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	毎日の保育では戸外に出て身体を動かしたり、室内では発達に合った玩具を選んで置き、子どもが十分に楽しめるよう配慮している。玩具設定は研修や書籍などで学び、子ども達が遊びたいと思うような魅力あるものを置いたり、環境を設定するよう心掛けている。例えば、1・2・3歳児クラスでは使用しなくなった押し入れを利用し手作りのままごとコーナーを設定しており、子ども達がそこで楽しそうに過ごす姿がみられる。 マラソン大会やプール遊び、餅つき、運動会、発表会等、時季によりさまざまな行事や遊びを行い、子どもたちは園生活の中で多様な経験ができる。
A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	一人ひとりの生活のリズムや発達段階、欲求や要求を優しく受け止め、信頼関係のもとで保育することに努めている。 おむつ替えや遊びなどは、ゆったりとした時間の中で、保育者が優しい声掛けをして子ども一人ひとりに関わっている。 0・1歳児では子どもの欲求や要求を受け止めながら言葉掛けをしたり、わらべ歌を歌うなどで子どもが安心して過ごせるよう関わっている。

A－1－(2)－⑥ 3歳児未満児（1・2歳児）の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<p>1・2歳児は身の回りのことが自分でできるようになるきっかけ作りを心掛けて援助をしている。自分で衣服を着る、身の回りのものを片付ける等を丁寧に伝え、「自分で」という気持ちが持てるような働きかけ、幼児の活動へつなげていくようにしている。</p> <p>保育室にはごっこ遊びや手先を使った遊びができるよう発達に沿った玩具が自分で引き出せる高さの棚に用意され、ホールではいくつかのコーナーを作り、自分で遊びたい場所や遊びを選び遊び込み、玩具も所定の場所に片付けやすいような環境の工夫がされている。</p>
A－1－(2)－⑦ 3歳以上児の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<p>3歳以上児では当番活動を取り入れており、保育者の手伝いをしたり、異年齢保育で年下のクラスを手伝ったり、友達からお札を言われることなどの経験を通じ、子どもの自信につなげている。</p> <p>また、太鼓演奏や発表会など、さまざまな行事で子ども達が楽しんだり、友達と一緒に一つのことをやり遂げる経験をしている。</p> <p>活動では外部の講師や、活動を担当できる職員による体操や英語、太鼓、音楽の指導が実施されている。</p> <p>製作は例えば、鬼のお面づくりなど季節に応じた作品を作り、その過程で手指の発達が促されているなど、年齢と発達を考慮して実施されている。また、天気の良い日は戸外遊びを主に行い、散歩などで自然に対する興味や関心が持てるように促し、子ども達に生じる自然な感情や言葉に共感し子どもの感性を育んでいる。</p>
A－1－(2)－⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<p>特別配慮が必要な子どもに関しては家庭と密に情報を共有しあい、子どもの状況に合わせ、保護者の気持ちも受け止めながら個別の保育計画を立ており、医療機関と連携をして保育を行なっている。援助にあたっては定期的な巡回指導時に毎回相談し、関わり方や環境を検討して実践している。また、個別に指導計画を立て、子どもの状態に沿いつつ、クラスの友達と楽しく関われるよう「本人にとって何が一番必要なのか」を考え、配慮して保育を行なっている。</p>
A－1－(2)－⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<p>朝、夕の合同保育は、0・1歳児、2・3歳児、4・5歳児と分け、子ども達が主体的に遊べるように環境を整えている。</p> <p>夕方、子どもや保育者が徐々に減り不安になりやすい時間帯にはスキンシップを多くとるよう意識し、安心して過ごせるよう努めている。また、特別な玩具を出したり、塗り絵やカードゲーム等を保育者と一緒に行い、子どもが楽しめるようしている。</p> <p>補食は申込制で19時を過ぎる子どもに提供しており、子どもが1人の時は保育者も一緒に食べて孤食にならないよう配慮している。</p>
A－1－(2)－⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<p>卒園児が多く就学する近隣の小学校の交流会に参加したり、学校の校庭に遊びに行くなど小学校と連携をして、子ども達が小学校に期待を持って就学できるよう取り組んでいる。</p> <p>保育の全体的な計画に幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を目標として掲げ、指導計画につなげ気持ちのコントロールや協調性、やり遂げる事などに配慮して就学を意識した保育をしている。</p>

A-1-(3) 健康管理		
A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	嘱託医による年2回の全園児健康診断のほか、歯科検診、2歳児以上の尿検査を実施し、日常では朝の検温、触診、視診表等で子どもの子を把握し、毎日の保育を開始している。手洗いやうがいの指導は、ポスターの掲示や、外部業者による手洗い指導などで習慣づけている。熱性痙攣、嘔吐処理、感染症予防、SIDSチェックなどはマニュアルを整備し、職員間で手順などを共有して、いつでも対応ができるよう態勢を整えている。
A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	a	【附】感染症発生情報と提示し、保護者に伝える 健康診断の結果は当日保護者に周知、欠席した園児は後日受診できるようにしている。また、健康診断時には健康について子どもたちに話をし、自分の身体や健康について意識が持てるよう促しているほか、保健指導の一環で絵本や体の絵を用いて体の内臓の役割を伝えることなどもしている。 歯の健康については食後にお茶を飲んだり、うがいをすることを促している。園では歯磨きは安全面を考慮し実施していないが、家庭での歯磨きの仕方を保護者に配布している。
A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもに対し、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	アレルギー対応では保護者と面談し、連携しながら、医師の指示に基づき個別対応をしている。食事提供の際は献立を栄養士、担任が確認し、提供するトレーに子どもの顔写真をつける、テーブルを他の子と分けるなどで誤食防止に注意を払っている。 アレルギーなどの基礎知識や対処法は職員全員が共有できるようにしており、エピペン使用については職員全員が対応できるように研修を実施して使用方法などの確認をしている。
A-1-(4) 食事		
A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	献立には新しいメニューを取り入れてバリエーションを増やしたり、季節や旬の食材を意識し、行事食は見た目も楽しめる献立になるよう工夫している。 観察時の給食は、人参ご飯、ゆず白菜塩昆布の和え物、サバの味噌煮、もずくスープ、りんごであり、副菜にもスープにもさまざまな野菜や食材がふんだんに使われているなど、季節の味覚が提供され、調理の手間をかけて提供されている。 調理保育や栽培保育などは年間食育計画を立てて計画的実施しており、また、季節や行事に合わせ、節分やひな祭り、鯉のぼりにちなんだメニュー等、子どもが楽しめるバラエティ一豊かな献立の提供がされている。
A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	保育者も一緒に食事を摂っており、苦手なものや食べ具合、食べ方など子どもの様子をよく見て、食事の介助や意欲的に食べられる援助をしている。提供時は年齢別に食材の大きさや形状を変え、薄味を意識して調理している。 衛生管理については、研修や会議等で学び、日々の調理に取り入れている。また、除去食を提供する際には調理員、栄養士、保育士で確認し安全に提供できるように配慮している。

A-2 子育て支援

	第三者評価結果	コメント
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		<p>登園時の挨拶では笑顔の対応を心がけ、降園時にも保護者とのコミュニケーションを図り子どもの様子などを伝えることを心掛けて実践している。</p> <p>連絡帳は、0~2歳児は毎日、3~5歳児は何かあったときに連絡帳を使い、子どもや家庭の様子について情報の共有をしている。</p> <p>毎日のクラスの様子は、ホワイトボードに活動内容や子どもの様子を各クラスで記入して保護者に伝えている。書かれた内容は写真にとることを許可しており、家庭に持ち帰り、家族も見ることができるようにしている。</p> <p>また、行事や特別な活動をした時は、撮影した写真を1階のエントランス貼り出して保護者に伝えている。</p> <p>卒園時には乳児期からの子どもの写真を載せた卒園アルバムを一人ひとりにプレゼントし、子どもが保護者と一緒に保育園生活を振り返るようにしている。</p>
A-2-(2) 保護者等の支援		<p>毎月発行している園だよりには子どもの様子や保育者の想い、園で大切に考えていることを保護者に伝え、登降園時には園長や主任も保護者と積極的に関わり、保護者からの相談を聞くことができる環境を作っている。</p> <p>個人面談の時には個別に子どもの様子を伝えたり、保護者が育児で困っていることなどを聞き、一緒に考えたりアドバイスを行なっている。</p> <p>保育参観は保護者が保育参観に参加しやすいように日程を広く設定して実施しており、園で過ごす日常の姿を保護者に見てもらい、安心感や信頼、子育ての認識共有につなげられている。</p>
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<p>虐待が疑われる家庭については子ども相談センターと連携を取り、出欠状況や園での子どもの様子、保護者の様子を伝え、情報を共有する体制がある。また、虐待マニュアルを整備し、虐待の早期発見や防止を行うためのチェックリストを作成して職員間で共有している。</p> <p>日常の中では、受け入れ時や着替え時の視診を丁寧に行なうことで、兆候があればすぐに気づけるよう留意している。</p>

A-3 保育の質の向上

	第三者評価結果	コメント
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		<p>保育については各計画に保育の評価・反省を記入する欄を設け、振り返りを行っている。年度末（3月）に総括を行い、1年の振り返りを保育者全員で実施している。</p> <p>また、保育士の自己評価としては、園独自で「子どもに対してダメと、言っていないか」「子どもの様子を共有しているか」等の目を立てた評価シートを用いて、年2回の人事考課と合わせて自己評価をしており、園長や主任と面談を行う中で職員個々が振り返り、職員が意欲を持ち仕事に取り組めるよう取り組んでいる。</p>

基 本 調 査 票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日 :		2019 年 12 月 20 日	
設置・運営主体	社会福祉法人桑の実会		
設置主体			
経営主体	同上		
事業所名 (施設名)	桑の実西所沢保育園	種別	保育所
所在地	〒 359-1145 埼玉県所沢市山口289-1		
電 話	04-2935-3181		
FAX	04-2935-3191		
Email	nishitokorozawa@kuwanomi.or.jp		
U R L			
施設長氏名	小岩井ひろみ		
調査対応担当者	小岩井ひろみ	(所属、職名 : 桑の実西所沢保育園 施設長)	
利用定員	90 名	開設年	平成 24 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p><桑の実会理念> 「その子らしさと、その人らしさを求めて」 一人ひとりの子ども達が家庭的な雰囲気の中で明るく伸び伸びと「その子らしさ」を発揮できる 保育環境のもと、保護者と保育士が密に連携を取り合い、子ども達と保護者、保育園職員が 子育ての喜びを伝えあいながら、共に成長できる共育を目指します。</p> <p><保育方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その子らしさを大切に育てる ・ 丈夫な身体をつくる ・ のびのびと意欲的に遊ぶ ・ 自分でやろうとする気持ちを大切にし基本的生活習慣の自立を養う ・ 色々な経験を通して豊かな感性・豊かな心を育む 			
開所時間 (通所施設のみ)	7:00~20:00		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1 クラスあたり 平均児童数	1 クラスあたり 平均保育士数
0歳児	8	8	1		3.1
1歳児	12	16	1		5
2歳児	12	16	1		3
3歳児	18	20	1		1.9
4歳児	20	20	1		2
5歳児	20	20	1		1
計	90	100	6	—	—

(注) 1 クラスあたり平均児童数は 2 クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		15 人		
うち	保育士	11	人	保健師・看護師 0 人
	栄養士・調理員	2	人	その他（施設長・事務員） 2 人
非常勤職員数		22 人	(常勤換算 13.8 人)	
うち	保育士	16	人	(常勤換算 10.6 人)
	保健師・看護師	0	人	(常勤換算 0 人)
	栄養士・調理員	5	人	(常勤換算 2.2 人)
	その他（保育補助）	1	人	(常勤換算 1 人)
(注) 常勤換算計算式　非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。				
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤：	1 人	非常勤： 3 人
	退職	常勤：	1 人	非常勤： 3 人
(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢			33 歳	(30 歳)
(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数			5.3 年	(5.1 年)
(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。				

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	18:00以降30分ごと100円
休日保育		
障害児保育		—
一時保育	○	保育料1,300円 給食代300円
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）		
アレルギー等対応給食	○	—
その他（事業名： ）		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

- 平成 30 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

10 人

・ボランティアの業務

- 日本社会事業大学から学生2名を受入、年長クラスの保育体験を行う。
- 防衛医科大学校から医学生8名を受入、保育体験とともに子どもに関しての質疑応答を受ける。

【実習生の受け入れ】

- 平成 30 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士	人
介護福祉士	人
その他	8 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	675.44 m ²		
	児童1人あたり	7.5 m ²	(計算式：建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	280 m ²		
	児童1人あたり	3.11 m ²	(計算式：園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input checked="" type="checkbox"/> 1. はい	<input type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	平成	24年	

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・毎日のノートのやり取りでご意見も伺っている
- ・個人面談や懇談会での話し合い
- ・個別に相談や要望があった場合、相談室でお話を伺う対応を行っている
- ・苦情受付担当者（主任・事務員）、苦情解決責任者（園長）の設置及び周知
- ・桑の実会第三者委員の設置及び周知
- ・ご意見箱の設置
- ・法人ホームページからのご意見受付

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

無理なくそれぞれ興味を持ち楽しみながら、やってみようとする気持ちを育むことを大切にし下記の内容を取り組んでいる

- ・3、4、5歳児・・・体操指導（キッズパワー）月2回実施
- ・4、5歳児・・・英語教室（ピーンズクラブ）月2回実施
- ・5歳児・・・太鼓指導（地域の方に依頼）夕涼み会での発表に向け取り組む
- ・4、5歳児・・・学研教室（夕方の空き教室を利用し、希望者向けに毎週1時間実施）
(保育時間外のため費用は保護者負担にて実施)
- ・戸外遊びを重視し天気のよい日は思いっきり体を動かし遊んだり、近隣の公園への散歩を楽しんでいる
- ・4、5歳児は朝のマラソンを行っている
- ・0歳児クラスは特に愛着関係を大切にし、わらべうたを通しての触れ合い遊びを心掛けている

【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数（前回の受審時期）

0回 (平成 年度)

事業所名：桑の実西所沢保育園

令和元年度 埼玉県福祉サービス第三者評価
利用者調査集計表

評価機関：合同会社福祉経営情報サービス
(認証No：埼玉県2012041)

事業所名 : 桑の実西所沢保育園

報告日 2020/1/27

令和元年度 埼玉県福祉サービス第三者評価

～調査概要～

実施事業所名 : 桑の実西所沢保育園

実施期間 : 2019/12/10 ~ 2019/12/20

実施方法 : 保護者を対象としたアンケート調査

調査対象 : 調査時に保育園を利用している全世帯の保護者

調査方法 ①書式 埼玉県の定める利用者調査表書式に準拠
②配布 事業所からの直接配布
③回収 評価機関への郵送と園内回収箱による回収

～実施概要～

定員 :	90 名	有効回答数 :	75 件
家庭数 :	85 名	回答割合 : (有効回答/家庭数)	88.2% %

～アンケート回答結果～

I 回答者属性（単位：人）

(1) 在籍クラス

0歳児	8
1歳児	12
2歳児	13
3歳児	15
4歳児	13
5歳児	12

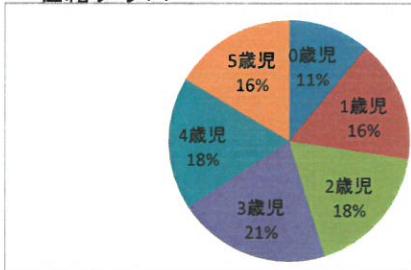
(2) 調査記入者

父親	6
母親	63
父母一緒に	5
その他	0

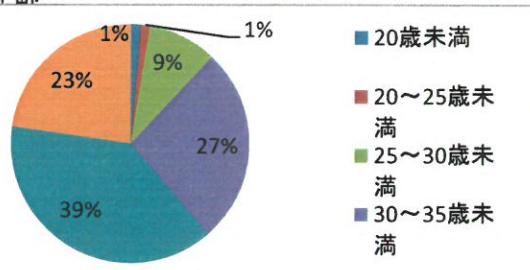
(3) 調査票記入者年齢

20歳未満	1
20～25歳未満	1
25～30歳未満	7
30～35歳未満	20
35～40歳未満	29
40～50歳未満	17
50歳以上	0

～在籍クラス～



～記入者年齢～



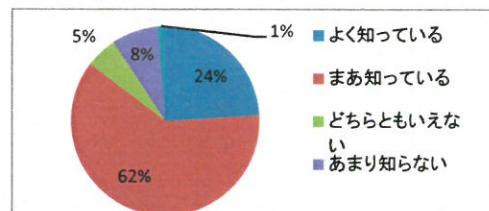
(4) 保護者の勤務形態

	常勤	パート・アルバイト	自営業	無職	その他
父親	65	0	5	0	1
母親	50	16	3	2	3
その他の保護者	2	5	0	8	0

II 保育園の基本理念や基本方針についておたずねします。

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか。（○は1つだけ）

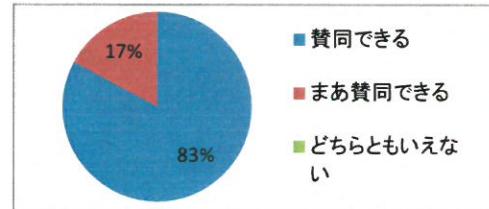
よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない
18	46	4	6	1



【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方へ】

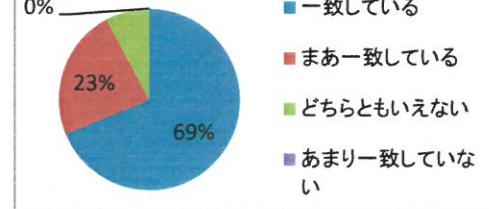
付問1 あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。（○は1つだけ）

賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない
53	11	0	0	0



付問2 日頃の保育サービスは、その保育目標や保育方針と一致していますか。（○は1つだけ）

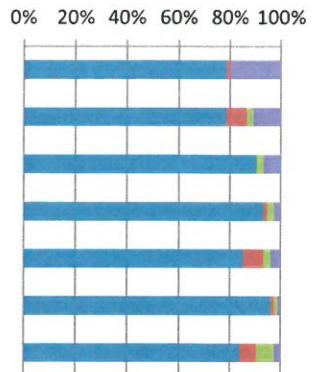
一致している	まあ一致している	どちらともいえない	あまり一致していない	一致していない
44	15	5	0	0



III ここからは保育園のサービス内容について、満足度をおたずねします。

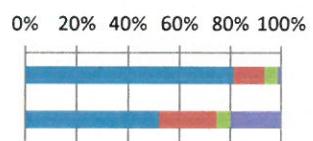
問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）

		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない
ア	見学は、快く受け入れてくれましたか。	59	1	0	15
イ	入園前の見学や説明など、園からの情報は得やすかったです。	59	6	2	8
ウ	入園時に、個別の面接はありましたか。	68	0	2	5
エ	お子さんの様子や生育歴などをしっかりと聞いてくれましたか。	70	1	2	2
オ	園の目標や方針、保育園での1日の過ごし方などについて十分な説明がありましたか。	64	6	2	3
カ	費用やきまり、持ちものなどについて十分な説明がありましたか。	72	1	1	1
キ	入園前の説明について、入園後の食い違いなどはありませんでしたか。	63	5	5	2



問3 保育に関する年間の計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）

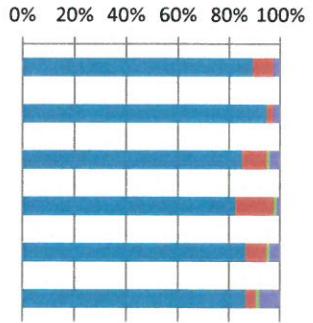
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない
ア	年間の保育や行事について、十分な説明がありますか。	61	9	4	1
イ	年間の保育や行事には、保護者の要望が活かされていますか。	39	17	4	15



問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）

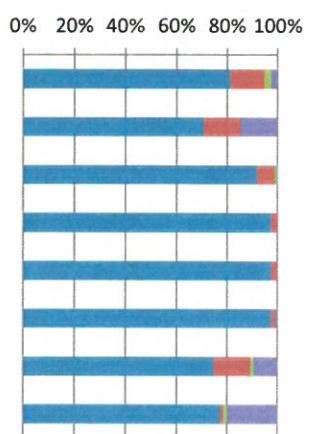
(1) 遊びについて

		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない
ア	園の遊びに、お子さんは満足していると思いますか。	67	6	0	2
イ	園のおもちゃや教材は、お子さんが自由に使えるような体制がとられていると思いますか。	71	2	0	2
ウ	お子さんの発達や意欲を促すような遊具・玩具が十分に用意されていると思いますか。	64	7	1	3
エ	自然に触れたり地域に関わるなどの散歩や屋外活動は、十分に行われていると思いますか。	62	11	1	1
オ	遊びを通じてお子さんの健康づくりへの取組がなされていると思いますか。	65	6	1	3
カ	遊びを通じて物を大切にする心や思いやりの心を育む指導がなされていると思いますか。	65	3	1	6

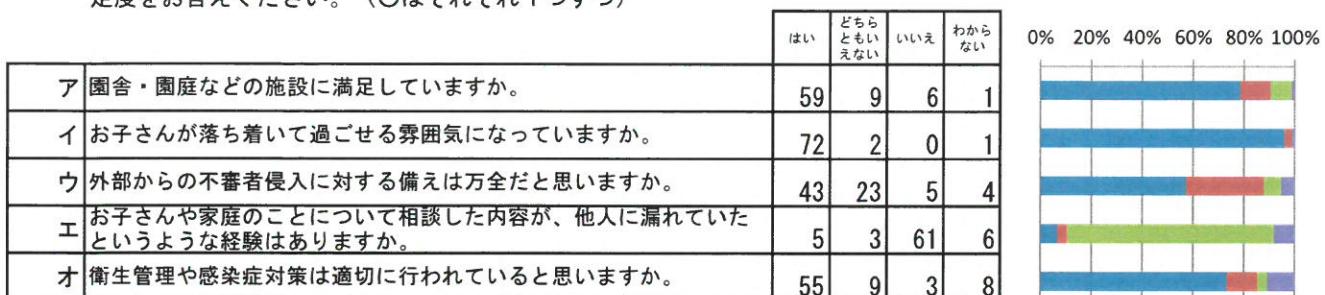


(2) 生活について

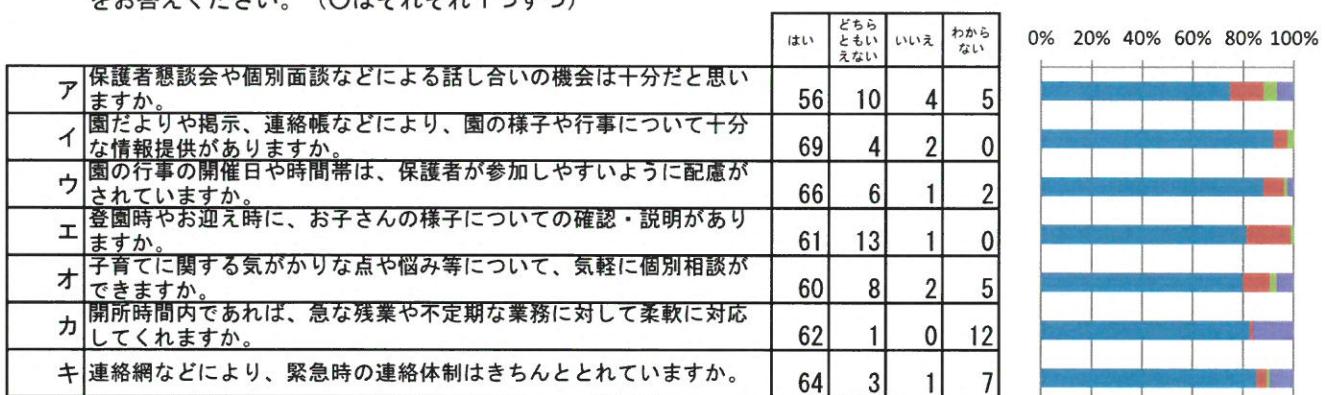
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない
ア	昼寝や休息は、お子さんの状況に応じた対応がされていると思いますか。	61	10	2	2
イ	トイレトレーニングについては、家庭と協力しながらお子さんの成長に合わせて柔軟に取り組んでいますか。	53	11	0	11
ウ	お子さんの体調について、常に気配りされていると思いますか。	68	5	1	0
エ	献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容が分かるようになっていますか。	73	2	0	0
オ	給食のメニューは充実していると思いますか。	73	2	0	0
カ	お子さんは給食を楽しんでいると思いますか。	73	1	0	1
キ	一人一人に適した量やその日の体調に合わせた調理方法等の配慮がなされていると思いますか。	56	11	1	7
ク	食事への配慮が必要な場合（離乳食、アレルギー等）、保護者との十分な連携がとれていると思いますか。	58	1	1	15



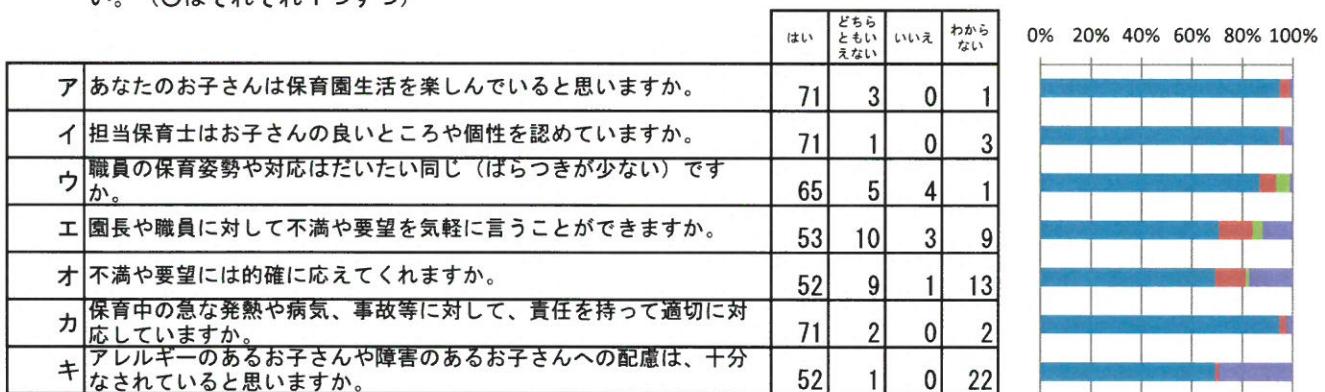
問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）



問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）



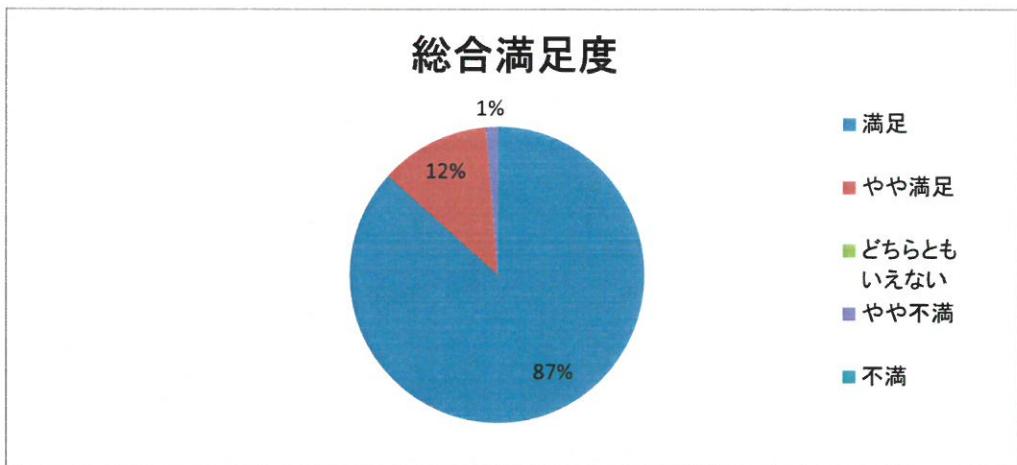
問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）



IV 総合的な感想についてうかがいます。

問8 現在利用している保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

回答者数	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
総合満足度は…	75	65	9	0	1



問9 保護者の立場からみて、お子さんが通っている保育園はどのような特徴があるかご記入ください。（3つ以内）

回答

	総合	食事・ 食育	保育 方針等	活動・ あそび	職員・対応	生活・クラス	安全	設備 環境	風土・ 雰囲気	取り組 み	行事	相談・ 保護者	保健・ 衛生
No1	常に何かを改善していこうとしている。				子供のことを心から可愛がってくれる。						保護者の負担になるような係仕事がなく、行事なども純粋に楽しませてもらえる。		
No2	保育士の先生がみな親切で、子供も先生方のことが大好きみたいです。												
No3	先生方の保育する姿勢、コミュニケーション力などの質が高い。				給食・おやつが手作りでとてもおいしい。								
No4	どの先生も子供の名前を把握している。				その子の成長に合わせて寄り添ってくれる。						保護者の負担を極力減らして対応してくれている。		
No5	のびのび。												
No6	笑顔が多い。				保護者と積極的にかかわってくれる（挨拶など含めて）。								
No7	保育士に安心して預けられる。				園長先生も各クラスに入り、子供の対応をしてくれている。						子供が通いたいと思える園づくりができる。		
No8	個々の個性を大事にして担任だけでなく手も子供の名前を憶えてくれて親切に対応してくれる。												
No9	子供の良い面など、よく見てくれる。				日記のやり取りなど、普段の生活面も（家庭での）気を使ってくれる。						行事等、子供も楽しみながら準備ができる。		
No10	職員の方が子供にやさしく対応してくださる。				キッズ、パワーや英語の取り組みがあり、子供にも刺激になっている。								
No11	天気の良いときは、いつも外遊びの時間があり、散歩もあるので、体を動かして遊んでいる。				キッズパワー、英語、調理保育など、様々な体験ができる。						わが子が笑顔で登園してくれて、帰宅後も園での話をしてくれるので安心できる。		
No12	個別の事情（発達や家庭の状況など）に配慮した人員配置や対応をしている。				食育に力を入れており、おいしい食事を楽しめる工夫をしている。（アレルギーや離乳食、食べられる量や形態の個人差にも対応。）						英語や体操など、小学校を見据えた幼児教育にも力を入れている。		
No13	安心して子供を任せられる。				清潔さを心掛け、環境を整えてくれる。						ルールや礼節を守りつつ、フレンドリーな対応。		
No14	担任でない先生も、名前がわかり、かかわってくださり、保育園全体で育ててくださっている。どの先生も等しく優しい。				明るく、清潔が常に保たれている。						キッズパワー（体操教室）、英語、和太鼓、ピアニカへの取り組みがある。		
No15	その子その子に合わせた対応をしてくれる。				本人の気持ちを大事にしてくれる。						友達の気持ちを考え、仲よく遊べるよう指導してくれる。		

総合	食事・ 食育	保育 方針等	活動・ あそび	職員・対応	生活・クラス	安全	設備 環境	風土・ 雰囲気	取り組 み	行事	相談・ 保護者	保健・ 衛生
No16	入園式の時点で名前を覚えていてくださっていました。担任の先生だけでなく、すべての先生が娘の名前を覚えていてくれ園全体で見守ってくださっている安心感があります。				英語や体操の時間があるのでありがとうございます。							
No17	園長先生を筆頭に、まずは子供を一番大切に考えてくださっており、安心してお任せできます。											
No18	園児が元気で明るい、楽しく通えているのだと思う。				季節のイベントや外部との交流などがあり、保育環境が園内だけで完結していないところが良い。							
No19	園内でのカリキュラムが充実している。(キッズパワー、英語、レオライナ訪問など)				園外活動がやや不足している。(公園、散歩、芋ほりなど)							
No20	園長先生が素晴らしい方で、心から信頼、感謝しております。				先生方がとてもやさしく親身で安心して通わせられます。				施設もいつもきれいで、とても良い保育園だと思います。			
No21	担任の先生だけではなく、園全体で子供たちを見守ってくれている雰囲気がある。				園長先生が積極的に現場に参加している。				キッズパワー(体操教室)や学研など、学びの場やプログラムが充実している。			
No22	年齢に応じたいろいろな体験ができる。				自然に親しみ、健康的な体作りができる。							
No23	人を思いやる気持ちをとても大切にしている。				他の学年との交流の時間を取ってくれていて、子供同士の触れ合いを大事にしてくれる。				公園など自然に触れる機会をしっかり設けてくれている。			
No24	日常の子供の様子や新しくできるようになったことなどを教えていただることから、一人一人をしっかり見てくれているところ。											
No25	新しい施設で安全に快適に過ごせる。				穏やかなお子さんが多い印象で、子供同士の大きなトラブルは少なそう。				保育園内で習い事ができる。			
No26	先生方の連携がきちんとしている。				季節のお花や植物がいけられていて掃除もきれい。				行事は大きなこのクラスに力を入れていて、0, 1歳児クラスは少ない。(小さいのでしょうかがないことは理解していますが、特徴として。)			
No27	担任の先生はもちろん、園全体で子供を見守ってくれていると思います。				調理保育を実施し、食育を大切にしてくれています。				英語や体操、太鼓の導入を積極的に行ってください、たくさん経験ができます。今年はメロディオンや合奏にも力を入れてくださいました。			
No28	園庭が広い(と思う)ので、他のクラスが遊んでいても比較的自由に遊べてよい。											
No29	先生方がとても温かく優しい雰囲気の中で保育してくださっている。				行事等、毎年いろいろ工夫し、より良いものへと改善しようとする前向きな姿勢を持っている。				園舎全体や保育室、トイレなど、いつ見ても掃除が行き届いていて、衛生面や安全面にとても配慮されています。			
No30	担任だけでなく、園全体で子供の成長を見守り、評価してくれるので、安心して預けることができる。				親の体調面の対応にも柔軟に対応してください。長期入院の際、退園にならないように気配りに感謝しています。				早朝から夜遅くまで延長保育が長いので、シフト制、接客業などの仕事だとありがたい。			
No31	子供たちのこともうそうですが、保護者のこととも気にかけてくれます。											

	総合	食事・ 食育	保育 方針等	活動・ あそび	職員・対応	生活・クラス	安全	設備 環境	風土・ 雰囲気	取り組 み	行事	相談・ 保護者	保健・ 衛生
No32	公立保育園と違って、英語教室や体操教室があってよい。				園内がとてもきれい。					駐車場が広くて止めやすい。			
No33	知育				体育					感（情）育			
No34	(※いくつかの)保育園を利用しましたが、今通っている桑の実保育園が一番良いです。園の目標や方針がしっかりされていて、先生たちもとても良いです。												
No35	保護者の仕事をよく理解し、行事などの保護者負担をなるべく少なくしてくれていると感じます。				先生方がみんな笑顔で感じが良い。					英会話や体操などはとても助かります。			
No36	女性保育士のみの保育園。												
No37	園長が女性ということもあって、きめ細かい対応と温かい雰囲気づくりができていると思います。												
No38	月齢にあった玩具が充実している。				保育者の目が子供に行き届いて安心して一日預けることができる。					相談や話を聞いてくれる体制がすごく心強く感じる。			
No39	明るい。				気配りがある。					オープンに働く立場を考えててくれて、子供ものびのび。			
No40	保育士さんが積極的に明るい挨拶をいつでも必ずしてください。												
No41	職員が優しい。				保育園がきれい。					園児がすごく楽しそうにしている。			
No42	保育士さんがクラスの担任でなくとも、子供の顔、名前を覚えていてくれます。				園長先生が周りをよく見てくださっていて頼りになります。								
No43	子と親双方の健康と負担減についてしっかりと配慮している園だと思います。												
No44	明るく優しい園長の元、のびのびと比較的規則など厳しくなく通える。				行事等、保護者が準備したりするものではなく、負担に配慮され短時間で終了する印象がある。					担任の先生など比較的若い印象がある。			
No45	園児がいつも元気に遊んでいる。年齢に合った遊びや、園庭は狭いけれど、きちんと工夫され、危険がないようにしてくれて園児も思いっきり遊ぶことができている。公園散歩もよくやってくれている。				英語やピアニカ、体操、和太鼓など、積極的に取り組んでくれている。それも園児が夢中になってやっている。楽しそう。					クラス内だけではなく、他クラスの子たちとのかかわりも多い。その中で、下の子のお世話をしたり、上のクラスの子たちとのかかわりも学べる。担任の先生以外の先生もしっかり子供の名前を覚えてくれて個性もわかってくれている。			
No46	先生たちが担任でなくても子供たちの中絵を把握して声をかけてくれる。				子供たちがいつもニコニコしている。お姉さんお兄さんたちが小さい子たちにも「バイバイ」など声をかけている。					外遊びやお散歩が多く、子供たちが伸び伸びと遊んでいる。			

総合	食事・ 食育	保育 方針等	活動・ あそび	職員・対応	生活・クラス	安全	設備 環境	風土・ 雰囲気	取り組 み	行事	相談・ 保護者	保健・ 衛生
No47				・行事が少ない。（遠足に連れて行ったりしてほしい）	・もう少し上手にしかれる先生が増えてほしい。よい先生もいるが。			・職員対応：	・子供への庄のかけ方がうまくない。ビビらせているだけ？（※以前のこと：受け入れ時の無視（面接で伝えたが、改善されなかった。））	・他の先生がいるときといいときの態度に差異がある。（園のことではなく個人のことですが、伝える機会がないので伝えてほしいです。）		
No48	お仕事で忙しいとは思うが、職員の皆さんにはせかせかしていないので、とても話しかけやすい。				どの担任の先生も元気で明るい。そして忍耐強く、子供たちと接しているし、よく見ているなと思う。			和太鼓や英語、ピアニカなど、いろいろなことにチャレンジさせてくれるので、とてもありがたい。				
No49	違うクラスの先生も、たくさん子供がいる中でも「〇〇ちゃん」と声をかけてくださり、「〇〇でしたよー」と明るく声をかけてくれる。				住宅街の中にあるため、園庭がすごく広い！という感じはないが、晴れている日はお散歩や公園に連れて行ってくれるからとても良い。			園自体もきれいでし、物も丁寧に使っているからなのか、「ボロボロだな…。」とか「汚いな…。」と感じたことが一度もない。				
No50	先生がいつも笑顔でやさしい。											
No51	駅が近くて助かる。園舎も園内も清潔に保たれている。				園長先生はじめ、先生方がとても親身でありがたい。このしきり方も適切で、親としてのアドバイスもいたされることもあり、すべてにおいて素晴らしい園だと思います。							
No52	先生方がとてもやさしくて、子供たちにも明るく接してくださり、丁寧な保育をされている印象。				保護者の負担ができるだけ少なくなるように配慮してくださっている。			キッズパワー、英語、和太鼓、民間教室など、フルタイム勤務で習い事などの活動に参加させづらい家庭事情などある中で、様々なことに取り組めるように努力されている。				
No53	子供同士で育ちあう環境。				子供1人1人の良さ（強み）を見つけてくれる。			年齢に合わせた保育。				
No54	アットホームな雰囲気。				保育士さんがみなにこやかで親切。			建物が新しくてきれい。				
No55	大人数のお子さんが通っている。				駅から近い。							
No56	個性を尊重する。											
No57	園長先生をはじめ、他の先生が、園児の名前、保護者を覚えていてくれて、とても親しみやすい。				いろいろな活動（キッズパワーや調理保育実習など）があり、子供が日々楽しく過ごせる。			運動会や発表会など、衣装を先生たちで作成していただいて、保護者への負担がほとんどなく、助かれている。				
No58	明るく家庭的。				保護者の負担ができる限り少なく考慮されている。			子供たちの安全や健康を第一に考えてくださっている。				
No59	先生たちのあいさつがとても良い。											
No60	園長先生をはじめとし、職員さんがチームワークよくいつも明るく丁寧である。				いろいろな取り組みを園長先生が考え、無理なく子供と楽しむ保育をしてくれています。			子供たちの中にいつも園長先生や職員が溶け込んで楽しい雰囲気が伝わってきます。				

総合	食事・ 食育	保育 方針等	活動・ あそび	職員・対応	生活・クラス	安全	設備 環境	風土・ 雰囲気	取り組 み	行事	相談・ 保護者	保健・ 衛生
No61	清潔。			帰り支度をすべて先生がやってくれる。					先生たちが優しい笑顔。			
No62	担任の先生だけでなく、先生皆さん一人一人子供をよく見てくださっている。			明るい雰囲気。					安心して預けられる環境が整っている。			
No63	のびのびできる（子供が）											
No64	保護者の役員などが全くなく、負担がない。			散歩が少ない（月1~2回？）園庭も狭いので動き回る機会が少ない。					他のクラスの先生も子供の名前や親の顔を覚えてくれていて保育園全体で預かってもらっていると感じている。			
No65	園長先生がとてもやさしい。			若い先生が多いが、しっかりと保育してくれている。					駅から近くてよい。			
No66	清潔感があり、子供が伸び伸びと生活しやすい配慮がされている。			他のクラスの先生方も1人1人をよく見てくださっている。					制作物など、個性的でステキ。			
No67	朝夕と先生がそれぞれ各クラスへあいさつに回っていて職員間のコミュニケーションは大事だなと感じました。			良い面も悪い面も一斉活動（みんなで一緒に）が多いように感じます。数曲みんなで歌を歌って楽しむのは良いと思いますが、その後次の活動への時間調整かもしれません、絵本の読み聞かせが4~5冊あり、椅子に座っていなければいけない状況だったので、大人でもずっと集中してみてるのはつらいなと感じました。					また、乳児クラスの食事のごちそうさまを他の子が食べ終わるのを待つてするのはどうかと思います。何事も待たせる保育ではなく、子供の意欲を損なわないような保育をして頂けたらと思います。			
No68	床暖房やエアコンなどの設備が充実している。また、月例の低いこと大きな子がかわることが少ないよう、配慮されている。			保護者の負担が少なくなるよう、イベントの開催日時などに配慮されている。					ほとんどの先生が（担任でなくとも）子供と親の顔を知ってくれている。			

問10

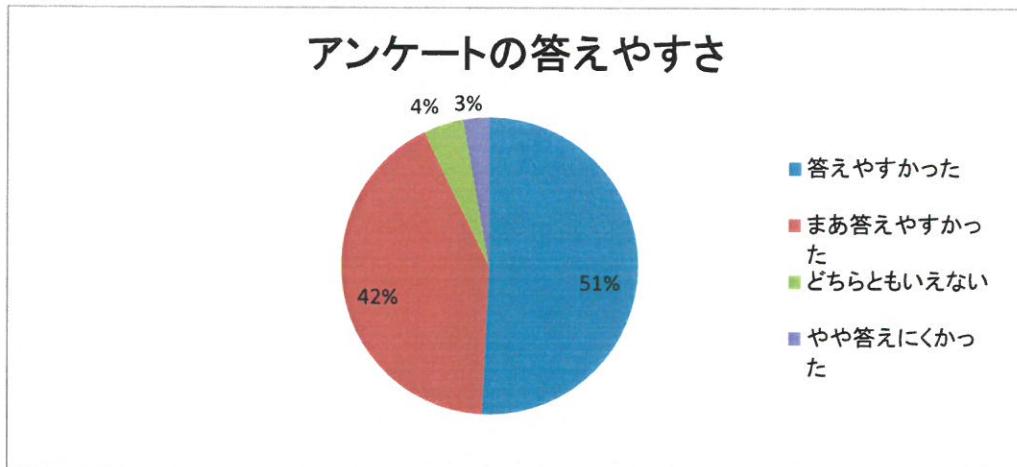
この保育園への要望などがあれば、ご自由にご記入ください。

回答		
No1	総合的な感想	我が家はあと少しで卒園となります。毎日楽しそうに通っています。今後ともよろしくお願ひします。
No2	総合的な感想	年少クラスからの途中入園でしたが、やさしく丁寧に対応してくださり、安心して預けられています。自宅から少し距離がありますが、卒園までお世話になりたいと思っています。今後もよろしくお願ひいたします。
No3	総合的な感想	いつも保育をしてくださり、園長先生をはじめ先生方にはとても感謝しております。息子にとても合っていると思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。
No4	総合的な感想	園長先生がとても子供好き、保育の仕事が好き、がとても伝わってくる。いつも園児の安全を考えてくれ、保護者のことも気にかけ、いろいろと対応してくれているので、子供を預けていても、とても安心です。先生方もとてもよく子供たちを見てくれていると思います。
No5	総合的な感想	子供が「保育園に行きたい！」というようになりました。過程で至らない点をかなり助けていただいている。引き続きよろしくお願ひ致します。
No6	総合的な感想	いつも本当にお世話になっています。先生方には頭が上がりません。何かあったときはお話し合いをして頂いたり、と本当に子供のことを第一に考えててくれていて、ありがとうございます。これからもよろしくお願ひいたします。
No7	総合的な感想	桑の実西所沢保育園には入れて本当に良かったです。先生方はみな、どの子に対しても「かわいい」と言ってくださり、しかるべき場面では適切に叱ってくれます。感謝の気持ちでいっぱいです。
No8	総合的な感想	今まで十分感謝しております。
No9	総合的な感想	今までの素敵な園経営を続けていってほしいです。
No10	総合的な感想	ないです。いつもありがとうございます。
No11	総合的な感想	職員皆さまの健康に注意して、今まで通りの保育を続けていただけたら嬉しいです。
No12	総合的な感想	よい先生が長く勤務できるよう、労働環境や福利厚生が充実して働きやすくなっていたければと思います。
No13	総合的な感想	<ul style="list-style-type: none"> ・自動ドアから1番近いフェンスの出入り口をせめて18:00まで開けておいてほしいです。 ・鼻水が垂れている子をよく見るので、拭いても拭いても追いつかないのもわかりますが、もう少し拭いてほしいです。 ・お勉強系がもう少し増えると嬉しいです。
No14	総合的な感想	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し園外保育を増やしてほしい。 ・運動会や発表会でのナレーション音響をもう少し大きくしてほしい。 ・歯磨きを取り入れてほしい。
No15	総合的な感想	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者参加の行事に終了後アンケートがなく、気づいたことなどをお伝えしたくてもなかなか機会がありません。アンケートの導入を考えていただけだと思います。 ・普段なかなかお話を聞けなかったりするので、懇談会は担任の先生全員が出席され、一言ずつでもお話を聞きたいなと感じました。また、保護者の方ともなかなかお会いできないので2日間に分けるより、1日でまとめて行ってほしいと思います。 ・かみつかれた報告は受けるのですが、顔に傷があったり、指に傷があったときなど何度も知らない傷ができていたので些細な傷でも一応報告をして頂けたら嬉しいです。 ・販売用の写真の金額が他の園に比べて高いなと感じます。 ・求職の見本が毎日出ていますが、他の園に比べて量が少ないような気がします。お変りもあるときとない時があるので、しっかり食べたという気持ちになれるようにしていただきたいです。主食がない?時などがあるような気がします。（例：チャーハン、副菜、汁物、果物の日）
No16	運営・方針	幼児クラスの面談を上半期に設定してほしい。今年から0、1歳児の運動会がなくなったが、兄弟児がいる場合、保育してほしい。帰宅時、玄関前の都が施錠されてしまうが、朝のように開けてほしい。
No17	運営・方針	行事が多く先生方も多忙で仕方がないのかもしれないけれど、個人面談や授業参観は連休や長期連休前後は避けていただけたら早退や休暇を取りやすくなるので助かります。
No18	運営・方針	桑の実西所沢保育園には心より感謝しかありませんが、自分たちの職業の勤務時間が他の方々と違い、昼～夜間の仕事のため、せめて幼稚園の年少さんくらいまでは、預ける時間帯に幅があるとよかったです。朝登園のため、平日は息子と会うこともできません。同じ職場の先輩ママさんが午前中は一緒に過ごすことを認めてもらっていたと聞き、勝手なことを申してもうしねけありません。桑の実保育園には本当に良くしていただいておりますが、県や国として仕事のしやすい体制があるとありがたいと思い書かせていただきました。
No19	運営・方針	体調不良やその他の幼児の際の保育時間をもう少しフレキシブルにしてほしい（制度上の問題かもしれません）。
No20	運営・方針	保育園長時間（夕方）を18:30以降に伸ばしてほしい。
No21	職員・対応	いつも親切で丁寧な対応をしてくださり、預けるときも安心でき、仕事へ行けるので助かります。

No22	保育内容	友達を思いやる心を育てることができる。
No23	保育内容	園庭が大きくないので、積極的にお散歩に行っていただけると嬉しいです。
No24	保育内容	個人的にはパジャマを着替える、歯磨きの習慣がなくなったのは残念です（安全面考慮という観点であれば仕方ないのですが）。プール期間がもう少し長ければよいなと思いました。
No25	保育内容	英会話や体操教室はもっと増やしてくれたらうれしいです。
No26	保育内容	幼稚園での教育差を少しでも埋められるように読み書きや自己表現力の強化につながる取り組みをもっと行ってほしいです。※有料でも構いませんので。
No27	行事	0歳児クラスと1歳児クラスの運動会と生活発表会がないのはさみしい。どちらかだけでも復活させてくれると嬉しいです。
No28	行事	もっと、子供中心でもよいと思います。運動会の園庭が狭いため、厳しいのは分かりますが、子どもの声援のない運動会は寂しすぎます。いっそ親がとらなくても済むよう、プロのカメラマンを入れてもよいのか？本番で頑張る年長さんを見て、下の子たちがそう組になったらああいう風になりたい！そう組は下の子にかっこいいところを見せたいという異世代の学習ができるといいなと思います。親はそれを見守るくらいでいいと思います。
No29	保健・衛生	どこかに責任を持たせないと万が一の時に困るからだとは思いますが、病気（感染症）が治ったときの「証明書」取得だけのために、金銭を払って再感染のリスクを負ってまで医療機関へ再受診するのは、どうなんでしょうか。やはり今一度制度として再考頂きたい。感知してからの登園には親が責任をお互いに持てばいいと思います。
No30	保健・衛生	感染症の出たクラスと合同で遊ばせるのは感染拡大してしまう恐れがあるので、大変かもしれないが部屋を分けて遊ばせてほしい（夕方や朝など）。
No31	連絡・報告	お誕生日会の様子が写真などで分かると嬉しいです。いつも子供たち初め、先生たちもニコニコしていて、入園してよかったですなど日々思っています。
No32	連絡・報告	いつも子供一人一人の長所を伸ばす気配り、心配りに感謝しています。要望は、運動会や生活発表会の時の子供の立ち位置などを事前に教えていただきたいです。また、リハーサルの様子の動画とか取っていたら、懇談会とかで流すか動画も販売してほしいです。本番休んだり、固まったりするので楽しそうな姿も見てみたいです。
No33	連絡・報告	保育園の写真（くるみー）をもっと更新してほしい。
No34	連絡・報告	皆さんとてもよくしてくださり、感謝しております。勝手を申しますと年齢が上がると男の子ということもあるのか、先生からは基本的にクラスの活動は教えていただけますが、園での様子があまりわからず（男の子だからあまり自分で話をしない）少し寂しいなと思います。
No35	連絡・報告	今年はプールの用意や布団の用意（上掛け）の説明がなく、ちょっとわかりづらかった。そもそも4月の新学年になったときもお教室が変わって場所をどのように使うのか、何をどこに置くのかの説明もなく、とても困りました。その辺のことをもう少し丁寧にしてもらえると、こちらも4月の忙しい日に右往左往しなくてよいと思います。
No36	設備・環境	玄関から自転車置き場が遠い。
No37	保護者関連	時々、駐車場の車内で大人の実で待機している保護者の方がいるので混雑時は注意してほしい。

問11 最後に、このアンケートは答えやすかったですか。

	回答者数	答えやすかった	まあ答えやすかった	どちらともいえない	やや答えにくかった	答えにくかった
アンケートの答えやすさは…	69	35	29	3	2	0



【「やや答えにくかった」または「答えにくかった」とお答えの方へ】

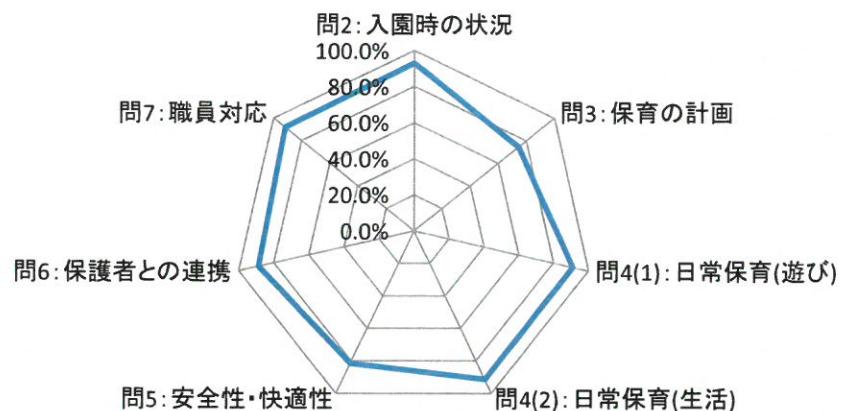
付問1 どのような質問が答えにくかったです。その理由などもお書きください。
今後の参考にさせていただきます。

- 「この保育園は」とありますが、他園を知らないので比較することができません。また、障害やアレルギーをお持ちのお子様のご家庭には対応なさっているとは思いますが、逆にそれをわざわざおっしゃることはないで我が家ではわかりませんでした。
- 昨年のこととはいえ、入園時のことは少し忘れ気味です。
- 自分が当てはまらないものもあったので、それを何と答えたらいいか悩んだ。例) トイレはまだ始まっていない。アレルギーがない。問7の(エ)(オ)(不満がない)。個別に相談も特になかったり。

～アンケート分析結果～

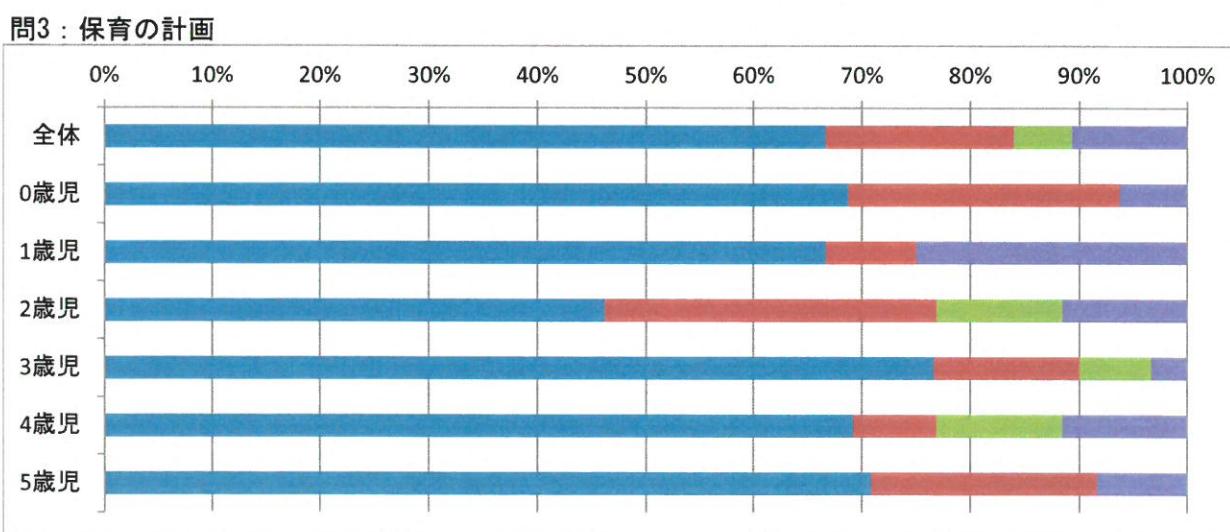
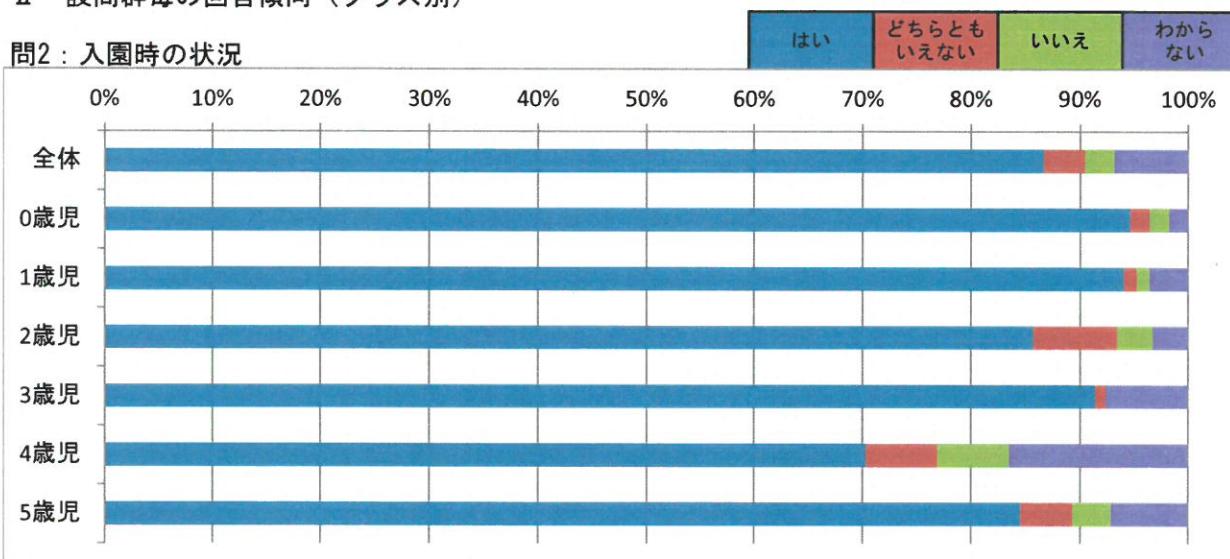
I サービス内容の満足度（全体の傾向）

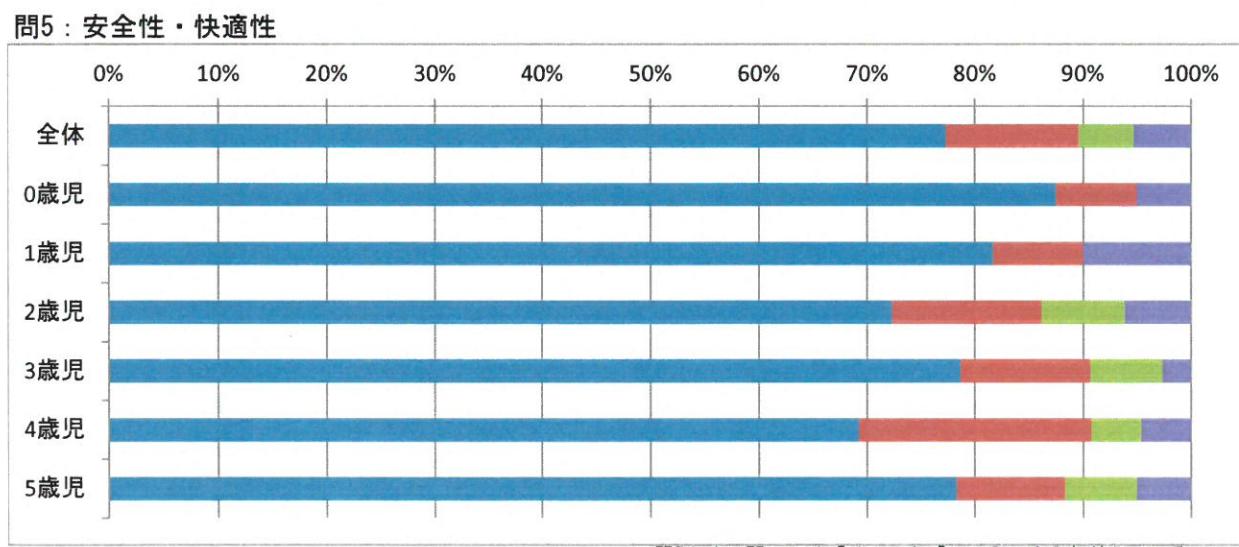
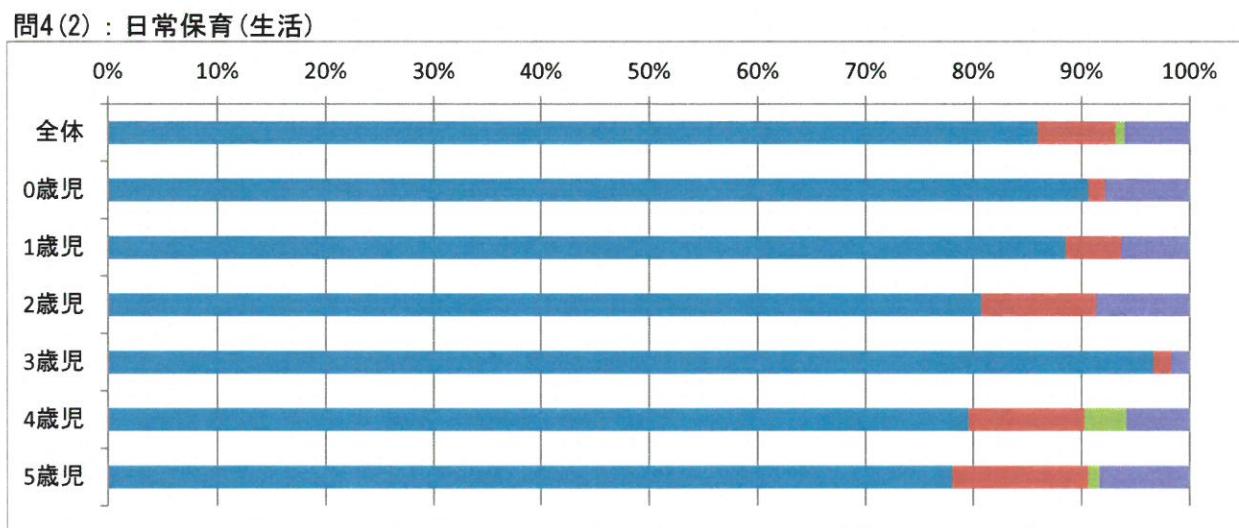
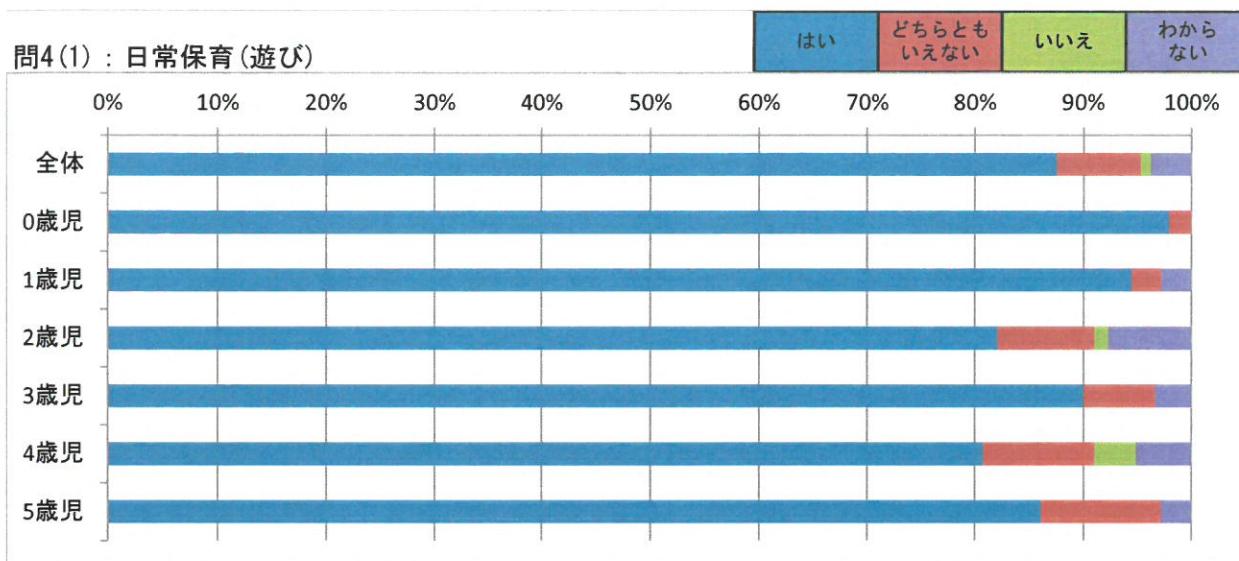
設問群毎の「はい」の回答率（「わからない」を除く）



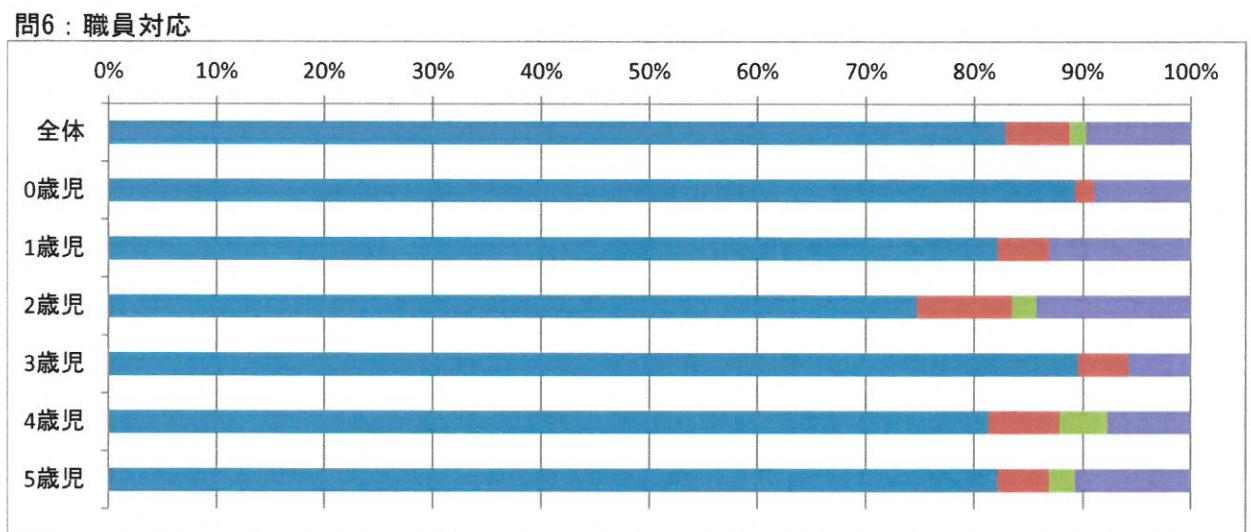
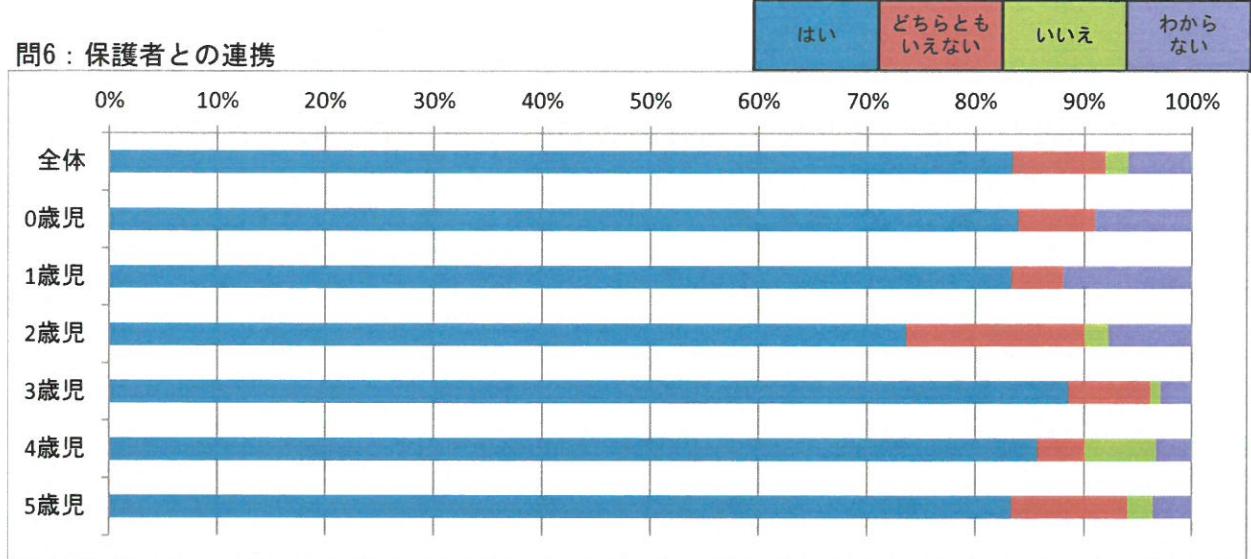
※問5(エ)に関しては「はい」と「いいえ」を入れ替えている

II 設問群毎の回答傾向（クラス別）





※問5(エ)に関しては「はい」と「いいえ」を入れ替えている



桑の実西所沢保育園 保護者の皆様へ

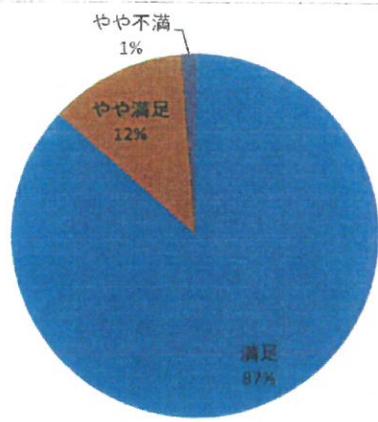
2019 年度に当園が実施した「保育園利用者アンケート」の結果についてお知らせいたします。

※以下は、埼玉県の福祉サービス第三者評価機関である合同会社福祉経営情報サービスが作成した利用者アンケート結果の概要です。第三者評価の詳細につきましては当園に保管された報告書の閲覧もしくは、埼玉県のWEBサイト (<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0602/daisansha-toppage/>) からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価利用者アンケート結果概要

実施期間： 2019/12/10 ~ 2019/12/20 回答数 75 88.2%

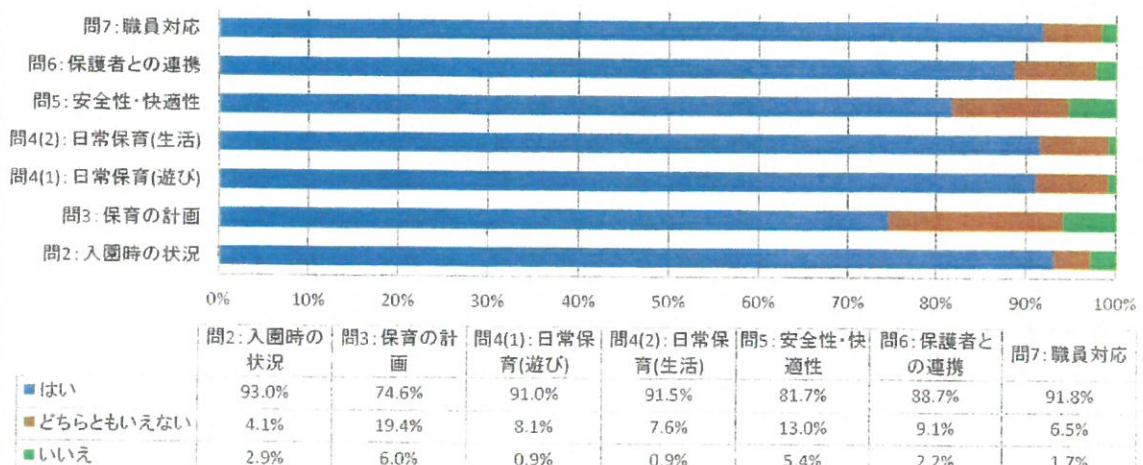
～園に対する総合満足度の結果～



～総合的な満足度回答集計結果～

回答者数	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
75	65	9	0	1	0

～内容別満足度(全体の傾向)～



～園からのコメント～

開園から9年目を迎え、大切な子ども達を保育する仕事として、サービスの実現を目指し愛着を行いました。今回の評価結果を見直し、職員と共に保育運営に努め安心・安全の保育を目指します。保護者の皆様、お忙しい中、アンケートのご協力ありがとうございました。

事業所名 桑の実西所沢保育園 R2 年 7月 曆日()
園長 小宮井 ひろみ

事業所名：桑の実西所沢保育園

令和元年度
埼玉県福祉サービス第三者評価
～職員自己評価集計表～

評価機関：合同会社福祉経営情報サービス
(認証：埼玉県 2012041)

令和元年度
埼玉県福祉サービス第三者評価
～職員自己評価集計表～

～目次～

	ページ
1. 職員自己評価集計結果（全体・役職・勤務形態別）	1
2. 職員自己評価集計結果（全体）（百分率）	5
3. 職員自己評価回答傾向（全体）	9
4. 職員自己評価回答傾向（常勤・非常勤職員別）	10
6. 職員自由記述回答	11

1. 職員自己評価結果

		共通評価基準		自己評価 (実数)							
				計	全體	常勤職員	常勤職員	常勤職員	常勤職員	常勤職員	非常勤職員
		できる いる	十分で はない	できて いない	わから ない	できて いる	十分で はない	できない いる	わから ない	できない いる	わかる ない
I	福祉サービスの基本方針と組織			30	30	0	0	13	0	0	0
I-1	理念・基本方針										
I-1-(1)	理念、基本方針が確立・周知されている。										
I-1-(1)-(1)	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。										
I-2	経営状況の把握										
I-2-(1)	経営環境の変化等に適切に対応している。										
I-2-(1)-(1)	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。			30	25	1	0	4	12	0	1
I-2-(1)-(2)	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。				30	26	0	0	4	12	0
I-3	事業計画の策定										
I-3-(1)	中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。										
I-3-(1)-(1)	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。			30	28	0	0	2	12	0	0
I-3-(1)-(2)	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。				30	26	2	0	2	12	0
I-3-(2)	事業計画が適切に策定されている。										
I-3-(2)-(1)	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。			30	29	0	0	1	12	0	1
I-3-(2)-(2)	事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。				30	27	2	0	1	11	1
I-4	福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組										
I-4-(1)	質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。										
I-4-(1)-(1)	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。			30	29	0	0	1	13	0	0
I-4-(1)-(2)	評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。				30	28	1	0	1	13	0

共通評価基準		自己評価						
		全体			常勤職員		非常勤職員	
		計	できる いる はない ない	十分で できて わから ない	十分で できない いる ない	十分で できて わから ない	十分で できない いる ない	十分で できて わから ない いる ない
II-1-1-（1）	管理者の責任とリーダーシップ	30	28	1	0	1	13	0
II-1-1-（1）-①	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	30	28	1	0	0	0	15
II-1-1-（1）-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	30	29	0	1	13	0	0
II-1-1-（2）	管理者のリーダーシップが發揮されている。	30	29	0	0	1	13	0
II-1-1-（2）-①	福祉サービスの質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	30	28	1	0	1	13	0
II-1-1-（2）-②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	30	28	1	0	0	0	15
II-2-1-（1）	福祉人材の確保・育成計画・人事管理の体制が整備されている。	30	27	1	0	2	13	0
II-2-1-（1）-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	30	28	0	0	2	13	0
II-2-1-（1）-②	総合的な人事管理が行われている。	30	28	0	0	0	0	15
II-2-2-（2）	職員の就業状況に配慮がなされている。	30	30	0	0	0	13	0
II-2-2-（2）-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	30	29	1	0	0	13	0
II-2-2-（2）-②	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	30	30	0	0	0	13	0
II-2-2-（2）-③	職員一人ひとりの教育・研修が実施され、教育・研修が実施されている。	30	30	0	0	0	13	0
II-2-2-（3）	職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	30	30	0	0	0	13	0
II-2-2-（3）-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	30	29	1	0	0	13	0
II-2-2-（3）-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	30	30	0	0	0	13	0
II-2-2-（3）-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	30	30	0	0	0	13	0
II-2-2-（4）	実習生等の福祉サービスに關わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	30	30	0	0	0	13	0
II-2-2-（4）-①	実習生等の福祉サービスに關わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしそうである。	30	30	0	0	0	13	0
II-3-1-（1）	運営の透明性の確保	30	30	0	0	0	13	0
II-3-1-（1）-①	運営の透明性を確保するための取組が行われている。	30	27	1	0	2	11	1
II-3-1-（1）-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	30	28	0	0	2	12	0
II-4-1-（1）	地域との交流、地域貢献	30	26	1	0	3	11	0
II-4-1-（1）-①	利用者と地域との交流を行っている。	30	27	1	0	2	11	1
II-4-1-（1）-②	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	30	23	4	0	3	10	2
II-4-2-（2）	関係機関との連携が確保されている。	30	26	1	0	3	11	0
II-4-2-（2）-①	利用者と地域との交流を行っている。	30	27	0	0	3	12	0
II-4-2-（2）-②	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	30	23	4	0	3	10	2
II-4-3-（3）	地域の福祉向上のための取組を行っている。	30	26	1	0	3	11	1
II-4-3-（3）-①	保育所が有する機能を地域に還元している。	30	25	2	0	3	12	0
II-4-3-（3）-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	30	25	2	0	1	13	2

共通評価基準		自己評価						
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施		全体会員			常勤職員			非常勤職員
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-（1）利用者を尊重する姿勢が明示されている。	計	できていない	わからない	できている	わからない	できている	わからない
Ⅲ-1-（1）-① 子どもを尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつたため取組を行っている。		30	30	0	0	13	0	0
Ⅲ-1-（1）-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。		30	30	0	0	13	0	0
Ⅲ-1-（2） 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		30	29	0	0	1	12	0
Ⅲ-1-（2）-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を精緻に提供している。		30	30	0	0	13	0	0
Ⅲ-1-（2）-② 保育の開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。		30	30	0	0	0	17	0
Ⅲ-1-（2）-③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。		30	30	0	0	13	0	0
Ⅲ-1-（3） 利用者満足の向上に努めている。		30	30	0	0	13	0	0
Ⅲ-1-（3）-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。		30	29	0	0	1	12	0
Ⅲ-1-（4） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		30	29	0	0	1	12	0
Ⅲ-1-（4）-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。		30	29	0	0	1	12	0
Ⅲ-1-（4）-② 保育者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。		30	29	0	0	1	12	0
Ⅲ-1-（4）-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。		30	29	0	0	1	12	0
Ⅲ-1-（5） 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		30	26	0	0	4	12	0
Ⅲ-1-（5）-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		30	30	0	0	13	0	0
Ⅲ-1-（5）-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		30	30	0	0	0	17	0
Ⅲ-1-（5）-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。		30	30	0	0	13	0	0
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保								
Ⅲ-2-（1） 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		30	28	0	0	2	12	0
Ⅲ-2-（1）-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。		30	27	1	0	2	12	0
Ⅲ-2-（1）-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		30	27	0	3	12	0	0
Ⅲ-2-（2） 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		30	27	0	0	3	12	0
Ⅲ-2-（2）-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。		30	27	0	0	3	12	0
Ⅲ-2-（2）-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。		30	27	0	0	1	15	0
Ⅲ-2-（3） 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		30	29	0	0	1	12	0
Ⅲ-2-（3）-① 子どもに関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。		30	29	0	0	1	17	0
Ⅲ-2-（3）-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。		30	29	0	1	12	0	0

A 内容評価基準										
自己評価										
			全体			常勤職員			非常勤職員	
計	できてる	できない	できてる	できない	わからない	できてる	できない	わからない	できる	できない
	いる	(ない)	いる	(ない)	(ない)	いる	(ない)	(ない)	いる	(ない)
A-1-1 保育内容										
A-1-1-(1) 保育課程の編成	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	30	27	0	0	3	10	0	0	3
A-1-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。 子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を開拓している。 「0歳」において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に乳児保育（3歳未満児）、「1・2歳児」の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 3歳以上児の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 離乳のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 小学校との連携、就学を見通した計画面に基づく、保育の内容や方法、保護者との割わりに配慮している。	30	29	0	0	1	12	0	0	1
A-1-1-(3) 健康管理	子どもの健康管理を適切に行っている。 健診結果を保育に反映している。 アレルギー疾患、慢性疾患のある子どもに対し、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	30	29	0	0	1	12	0	0	1
A-1-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。 A-2-(2) 保護者等の支援 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	30	28	0	0	2	12	0	0	1
A-3 保育の質の向上	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価） 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	30	26	0	0	4	11	0	0	2

2. 職員自己評価集計結果（全体）

評価基準		自己評価 (百分率)			
		できる	十分ではない	できていない	わからない
I 福祉サービスの基本方針と組織	I - 1 理念・基本方針				
I - 1 - (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		できる 100.0%	十分で はない 0.0%	できて いない 0.0%	わから ない 0.0%
I - 1 - (1) -① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。		できる 100.0%	十分で はない 0.0%	できて いない 0.0%	わから ない 0.0%
I - 2 経営状況の把握	I - 2 - (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。				
I - 2 - (1) -① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。		できる 83.3%	十分で はない 3.3%	できて いない 0.0%	わから ない 13.3%
I - 2 - (1) -② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。		できる 86.7%	十分で はない 0.0%	できて いない 0.0%	わから ない 13.3%
I - 3 事業計画の策定	I - 3 - (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。				
I - 3 - (1) -① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		できる 93.3%	十分で はない 0.0%	できて いない 0.0%	わから ない 6.7%
I - 3 - (1) -② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		できる 86.7%	十分で はない 6.7%	できて いない 0.0%	わから ない 6.7%
I - 3 - (2) 事業計画が適切に策定されている。					
I - 3 - (2) -① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		できる 96.7%	十分で はない 0.0%	できて いない 0.0%	わから ない 3.3%
I - 3 - (2) -② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。		できる 90.0%	十分で はない 6.7%	できて いない 0.0%	わから ない 3.3%
I - 4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I - 4 - (1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。				
I - 4 - (1) -① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。		できる 96.7%	十分で はない 0.0%	できて いない 0.0%	わから ない 3.3%
I - 4 - (1) -② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。		できる 93.3%	十分で はない 3.3%	できて いない 0.0%	わから ない 3.3%

評価基準		自己評価				できる	十分ではない	できない	わからない		
		できる	十分ではない	できない	わからない	0%	20%	40%	60%	80%	100%
II 組織の運営管理											
II-1 管理者の責任とリーダーシップ											
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		できる 93.3%	十分ではない 3.3%	できない 0.0%	わからない 3.3%						
II-1-(1)-①	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	93.3%	3.3%	0.0%	3.3%						
II-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	96.7%	0.0%	0.0%	3.3%						
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。											
II-1-(2)-①	福祉サービスの質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	96.7%	0.0%	0.0%	3.3%						
II-1-(2)-②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	93.3%	3.3%	0.0%	3.3%						
II-2 福祉人材の確保・育成											
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。											
II-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	90.0%	3.3%	0.0%	6.7%						
II-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	93.3%	0.0%	0.0%	6.7%						
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。											
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。											
II-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	96.7%	3.3%	0.0%	0.0%						
II-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
II-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関する専門職の研修・育成が適切に行われて											
II-2-(4)-①	実習生等の福祉サービスに関する専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%						
II-3 運営の透明 II-3 運営の透明性の確保											
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。											
II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	90.0%	3.3%	0.0%	6.7%						
II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	93.3%	0.0%	0.0%	6.7%						
II-4 地域との交流、地域貢献											
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。											
II-4-(1)-①	利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	86.7%	3.3%	0.0%	10.0%						
II-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	76.7%	13.3%	0.0%	10.0%						
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。											
II-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	90.0%	0.0%	0.0%	10.0%						
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。											
II-4-(3)-①	保育所が有する機能を地域に還元している。	86.7%	3.3%	0.0%	10.0%						
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	83.3%	6.7%	0.0%	10.0%						

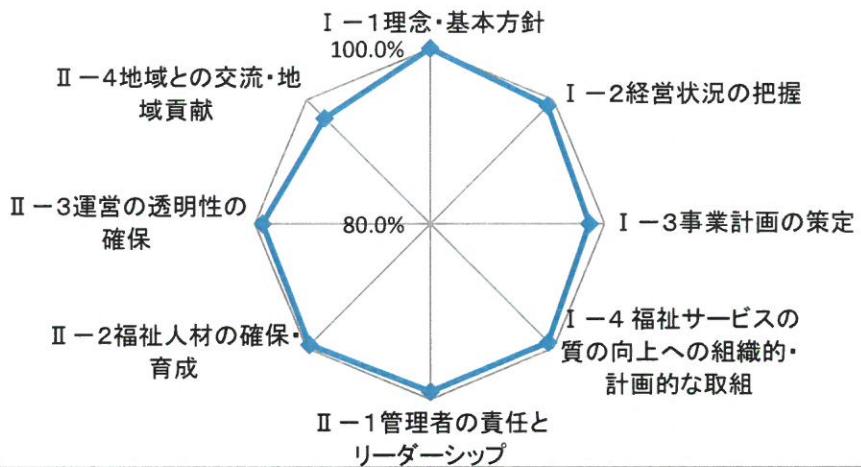
評価基準		自己評価			
		できる いる	十分で はない	できて いない	わから ない
III 適切な福祉サービスの実施					
III-1 利用者本位の福祉サービス					
III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。					
III-1-(1)-① 子どもを尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
III-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。					
III-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	96.7%	0.0%	0.0%	3.3%	
III-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
III-1-(2)-③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
III-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。					
III-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
III-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。					
III-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	96.7%	0.0%	0.0%	3.3%	
III-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	96.7%	0.0%	0.0%	3.3%	
III-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	96.7%	0.0%	0.0%	3.3%	
III-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。					
III-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	86.7%	0.0%	0.0%	13.3%	
III-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
III-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
III-2 福祉サービスの質の確保					
III-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。					
III-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	93.3%	0.0%	0.0%	6.7%	
III-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	90.0%	3.3%	0.0%	6.7%	
III-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。					
III-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	90.0%	0.0%	0.0%	10.0%	
III-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	90.0%	0.0%	0.0%	10.0%	
III-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。					
III-2-(3)-① 子どもに関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	96.7%	0.0%	0.0%	3.3%	
III-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	96.7%	0.0%	0.0%	3.3%	

A 個別評価基準		自己評価				できる てる	十分で はない	できてい ない	わから ない
		できる てる	十分で はない	できてい ない	わから ない	0% 20% 40% 60% 80% 100%			
A-1 保育内容									
A-1-（1）保育課程の編成									
A-1-（1）-①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	90.0%	0.0%	0.0%	10.0%				
A-1-（2）環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開									
A-1-（2）-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。	96.7%	0.0%	0.0%	3.3%				
A-1-（2）-②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	96.7%	0.0%	0.0%	3.3%				
A-1-（2）-③	子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。	93.3%	0.0%	0.0%	6.7%				
A-1-（2）-④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	93.3%	0.0%	0.0%	6.7%				
A-1-（2）-⑤	乳児保育（0歳）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	90.0%	0.0%	0.0%	10.0%				
A-1-（2）-⑥	3歳児未満児（1・2歳児）の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	86.7%	0.0%	0.0%	13.3%				
A-1-（2）-⑦	3歳以上児の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%				
A-1-（2）-⑧	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	83.3%	3.3%	0.0%	13.3%				
A-1-（2）-⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	86.7%	3.3%	0.0%	10.0%				
A-1-（2）-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%				
A-1-（3）健康管理									
A-1-（3）-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	96.7%	0.0%	0.0%	3.3%				
A-1-（3）-②	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	90.0%	3.3%	0.0%	6.7%				
A-1-（3）-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもに対し、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	93.3%	0.0%	0.0%	6.7%				
A-1-（4）食事									
A-1-（4）-①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	93.3%	0.0%	0.0%	6.7%				
A-1-（4）-②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	93.3%	0.0%	0.0%	6.7%				
A-2 子育て支援									
A-2-（1）家庭との緊密な連携									
A-2-（1）-①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	93.3%	0.0%	0.0%	6.7%				
A-2-（2）保護者等の支援									
A-2-（2）-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	93.3%	0.0%	0.0%	6.7%				
A-2-（2）-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	86.7%	0.0%	0.0%	13.3%				
A-3 保育の質の向上									
A-3-（1）保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）									
A-3-（1）-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	86.7%	0.0%	0.0%	13.3%				

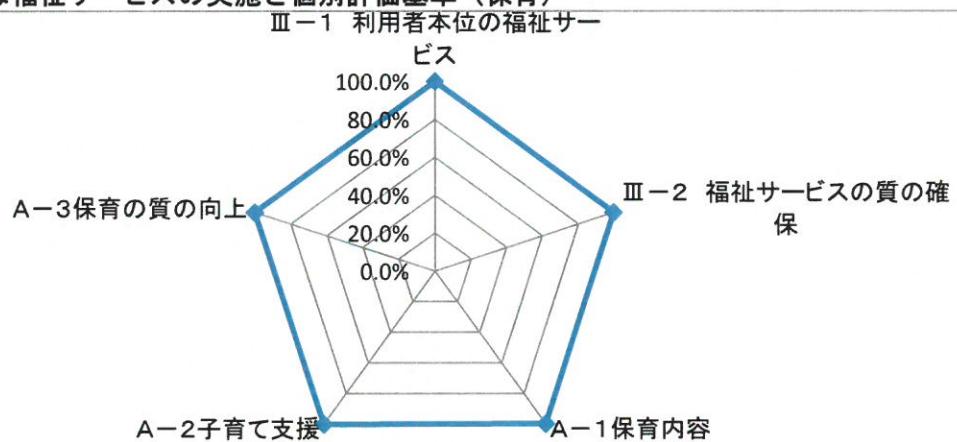
3. 職員自己評価回答傾向（全体）

※選択回答結果を「できている」を1、「十分ではない」を0.5、「できていない」を0として数値化して集計

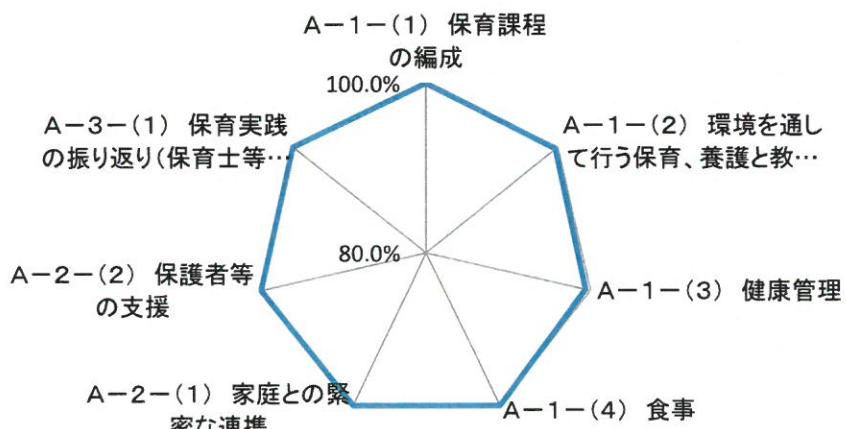
1. 組織マネジメント(方針・組織・運営)



2. 適切な福祉サービスの実施と個別評価基準（保育）



3. 個別評価基準（保育）



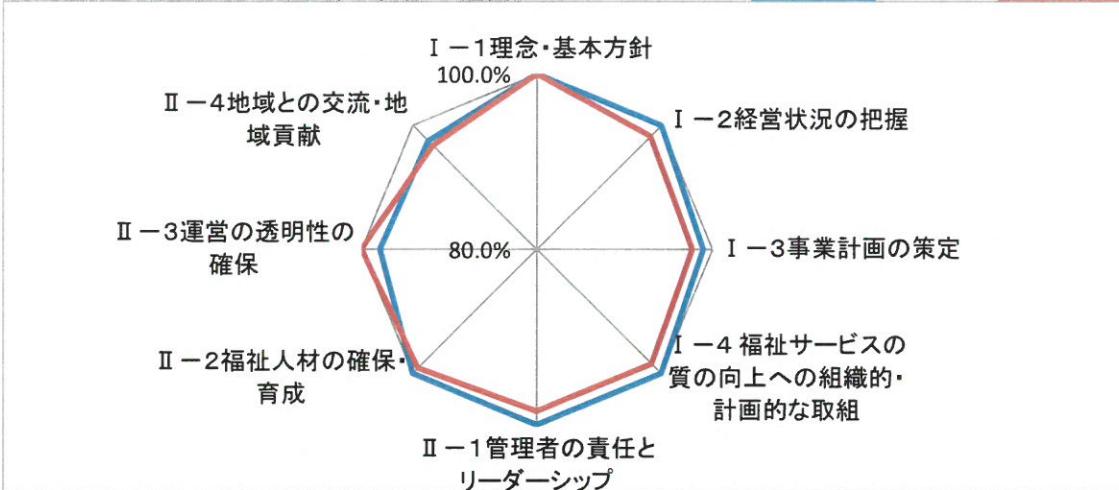
4. 職員自己評価回答傾向（常勤・非常勤別）

※選択回答結果を「できている」を1、「十分ではない」を0.5、「できていない」を0として数値化して集計

1. 組織マネジメント(方針・組織・運営)

常勤

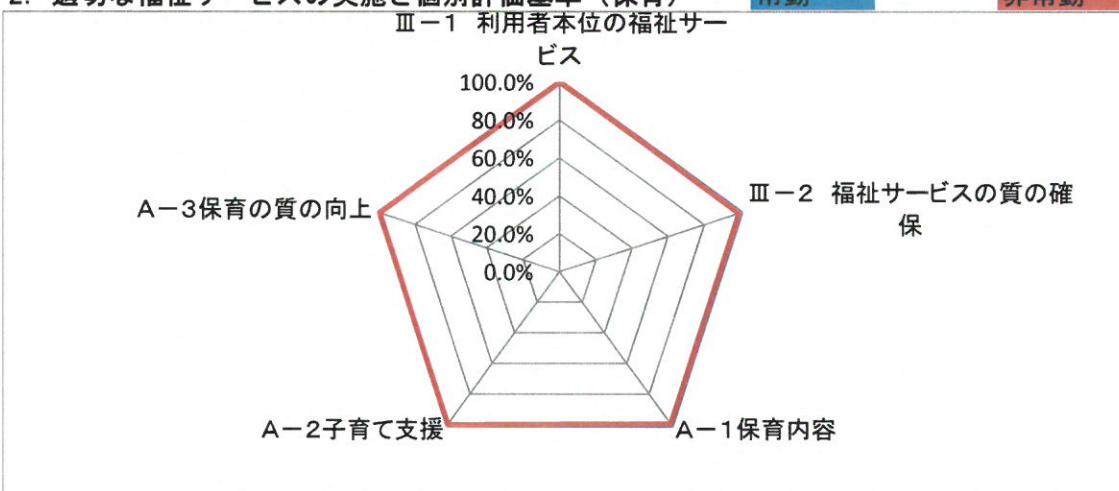
非常勤



2. 適切な福祉サービスの実施と個別評価基準（保育）

常勤

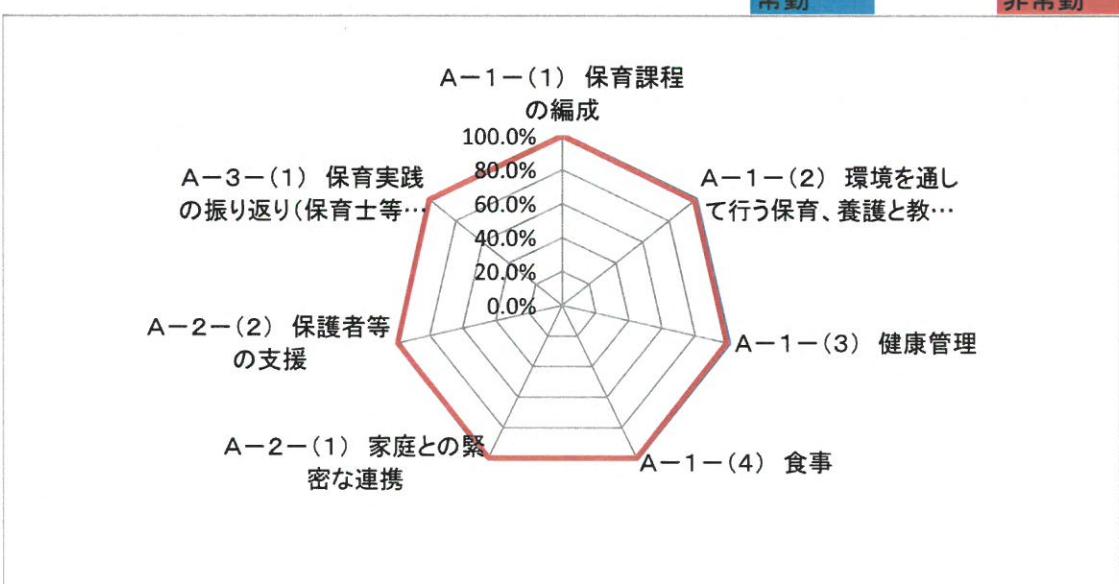
非常勤



3. 個別評価基準（保育）

常勤

非常勤



5. 職員自由記述回答

A-4 設問「自己評価の中で気づいた、事業所の『特に良いと思う点』『もっとよくできる点』『もっとよくしたいと思う点』をご記入ください。」の回

特に良いと思う所

No	分類	回答
1	総合的な意見	駅から近い。保育園の雰囲気がいい。連携が取れている。様々なことがきちんと周知されている。
2	総合的な意見	園長のいろいろ取り組む発想や、子供たちが遊べる環境づくりを考えているところがいいです。とても働きやすい職場です。職員が明るく優しいです。
3	総合的な意見	休みがとりやすい。駅の近くにある。職員同士が仲が良い。子供に対しての声掛けが優しい。笑顔がたくさんあふれています。挨拶がしっかりできている。園長が優しい。
4	総合的な意見	挨拶、コミュニケーションを大切にしているところ。（対子供、対保護者） ・園長が子供一人一人、保護者一人一人、対職員によく声をかけている。（気にかけている） ・さまざまな会議をこまめにしている。 ・クラス、クラス外を超えて、皆で子供を見ている。 ・手作りおもちゃが多くある。
5	規律・規範 整理・整頓・清掃	職員全体で毎日細かく清掃を行うため、園内がいつもきれいで整理されている。
6	規律・規範 風土・雰囲気	挨拶が元気に丁寧なところ。
7	風土・雰囲気	職員がみな明るく、雰囲気がとても良い。
8	風土・雰囲気	職員がみんな優しい。
9	リーダーシップ	子供たち、保護者にはもちろんだが、1人1人の職員のことを上の方々達が気にかけてくれる。
10	リーダーシップ	園長先生がいろいろな面で気を配り、動いてくださるので、見習い頑張りたい気持ちになります。
11	リーダーシップ	園長が良く話を聞いてくださり、クラスにも入り、とても働きやすいです。
12	リーダーシップ	園長が子供たちにやさしく大変そうなときや職員の方が休みの時は、クラスに入り、手伝ってくださる。
13	情報共有	法人全体の方針がきちんと全体に伝わっていて働きやすい環境にあると思う。
14	組織・チームワーク	保育士がコミュニケーションをとって笑顔で仕事しているところ。子供たちの成長を一緒に喜び見守っているところ。
15	職場環境	家庭的でとても暖かい職場で働きやすく助かっています。
16	職場環境	とにかく働きやすいです。園長先生が優しくいつも寄り添って話や悩みを聞いてくださり、助かっています。保育士さんも明るく楽しくてとても良い職場だと思います。
17	職場環境	人間関係が良好で働きやすい職場であること。
18	職場環境	人間関係、アットホームな雰囲気。
19	職場環境	職員間の関係が良く、相談などもしやすく働きやすい。有休もとりやすい。
20	職場環境	職員の連携が取れていて、雰囲気のよい環境。
21	職場環境	職員間の仲がとてもよく、働きやすい雰囲気であるところ。
22	職場環境	職員間の仲が良く、連携が取れている。
23	職場環境	上司に保育について相談に乗ってもらうなど、よい関係が築けている。
24	職場環境	環境が良く、職員の仲が良く、まとまっていて仕事が楽しいです。

特に良いと思う所

N o	分類	回答
25	就業環境	代休などの休暇をしっかりとれるようにしているところ。
26	就業環境	休みがとりやすい。
27	設備環境	季節ごとの花を飾ったりしているところ。
28	保育環境	子供に対する声掛けがみな優しく、穏やかに保育ができているところ。
29	保育環境	子供に対しての声掛けが優しく、子供たちが安心して過ごせるよう全職員が意識している。
30	保育環境	一人一人の子供に対して保育園が楽しめるよう声掛けや心配りをしていると思います。
31	保育環境	担任だけでなく、職員全員が子供とかかわりあい、子供を尊重した保育を行っていると思う。
32	保育実施面	手作りのおもちゃを工夫している。
33	保育実施面	子供一人一人に合わせた保育を行っているところ。

もっとよくできると思う所・もっとよくしたいと思う所

N o	分類	回答
1	設備・環境	住宅地のため、声の大きさや音などを抑えていることが多い。もっとオープンにできたらと思う。
2	組織・チームワーク	もっともっと意見を出し合ったり、担任でなくとも園内の子供たちのことをさらにしっかりと把握していくこと。
3	人材育成	1人1人の意識を高める。
4	人材育成	8年目ということで中堅職員が少ないので、経験職員も入ってくれたらもっと良くなると思います。不満はありません。
5	人材育成	保育園内での勉強会をもっとたくさん開けたらいいと思う。
6	保健・衛生	看護師が1人でもいると、子供のけがの処置や、感染症予防などができる、より良い環境づくりができると思う。